

特 23

957

X 複写

東京帝國大學教授 戸田貞三述

我國現時の社會問題としての人口問題

5 193

山口縣

始

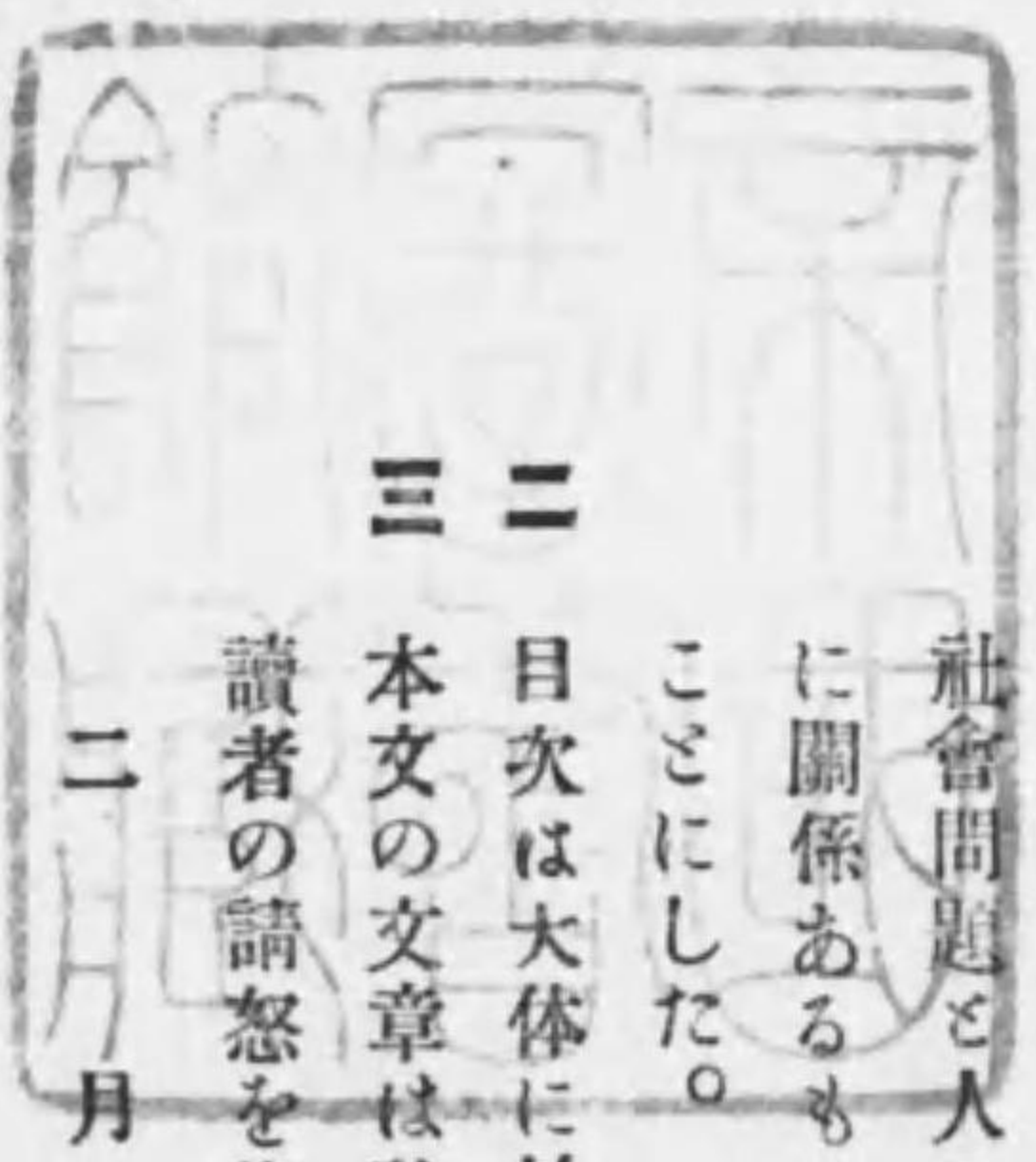


4523  
85

緒言

一 本冊子は昭和四年八月熊毛郡室積町に開催された本縣主催社會事業夏期大學に於ける東京帝國大學教授戸田貞三氏の講演速記に依つたものである。内容は各種の社會問題と人口との關係から起つて資源の増加、消費の合理化等に及び社會事業に關係あるものゝ参考に資することが多いので特に印刷して關係方面に頒布することにした。

二 目次は大体に於て教授の講義要項に依つて作製し、本文中に挿入した。  
三 本文の文章は教授の校閲を経たものではないから或は萬一の誤謬なきを保せない讀者の請怒を仰ぐ。



二月



山 口 縣

# 我國現時の社會問題としての人口問題

東京帝國大學教授 戸田貞三 述

## 目次

- 一 社會問題としての人口問題  
保健、失業、農村及都市問題等と人口との關係
- 二 自然人口と人工人口
  - 1 人口移動  
都市集中、外國移住
  - 2 出生助長  
外婚制、多妻制、婚姻促進、出產保護
  - 3 出生制限  
殺兒、墮胎、避妊、婚姻制限、年齡上の制限、通婚範圍の制限

数の制限、婚姻禁止

4 死亡防止

原始的方法、醫療の進歩、保護政策、食料政策、住宅政策

### 三 人口政策

1 人口構成

2 積極政策

資源増加、發明助長、企業の合理化

3 消極政策

人口調節、人種改良及消費の合理化

## 一 社會問題としての人口問題

保健失業農村及都市問題等と人口との關係

私は現時の社會問題と致しましての人口問題を御話致します。目下の場合で日本の社會問題と申せば主として富の分配問題、所謂貧富の懸隔から來る所の諸々の問題が最も重要な問題であると斯う考へられて居るのであります。又それは確かに事實であります。併しながら富の分配から來る所の問題と同様な重要性を以て、取扱はるべきものは日本の人間の數—即ち人口問題であると考へなくてはなりません。何故ならば、今日に於て最もやかましく論せられて居る或は失業問題、或は都市問題、或は農村問題と言はれる様なものも、たしかに其の中の或る一部分は人口と云ふやうな事に歸着すべき問題であるからであります。即ち人間の數がどう云ふやうになつて居るか、或はどう云ふ風な人間が其の中に生活して居るのであるかと云ふ事から來て都市の問題、或は農村の問題、或は失業の問題と云ふ風なものが考へられなくてはならないやうになつて居るのであります。

そこで先づ最初に『社會問題としての人口問題』と云ふ中で都市問題、農村問題と云ふ

が如き方面から見られる所の人口問題及失業問題に關聯して起る所の人口問題、それから保健衛生と云ふ事に關聯して起る所の人口問題、斯う云ふ問題といふものに就いて先づ御話をして見度いと思ふのであります。印刷して差上げました綱要の順序としては保健と云ふ事が一番先に書いてありますから此の事を極く簡単に申して置きます。

### 1 保健問題と人口

保健問題と云ふのは何かと申しますと、國民の質に關する問題でありまして、國民といふものは皆な立派な素質を持つべきものである事を吾々は要求して居るのであります。國民の一人々々は皆な優等の素質を持った國民、逆に申せば劣つた素質を持った國民が無いやうにしやうと云ふ事が國民としては最も望ましい事でありまして、そこで國民の質の改良、出來得るならば優等なものを出來るだけ多く持つやうにすると云ふ事——よしや是が出來ない迄も劣つたものを國民の中に含まないやうにしたいと云ふ事から來る問題であります。之に就ては色々な事が考へられるのでありますが、先づ御承知の如く物質的のものを見る見方から申しますと、國民の保健問題と云ふが如き事は結局我々が自分達の生活の資料として用ゆる所の品物に還元される事でありまして、我々が我々の衣食住に於て高等な立派な

ものを採つて居る間は國民の素質が良くなるし、之に反して我々の用ゆる所の物が立派でない事になり、悪い品物で衣食住を間に合はせて、置くこと云ふ境遇に置かれるならば國民の素質は悪くなると斯う云ふ考へ方があります。是は極く簡単に申したのでありますが、長い間斯う云ふ考へ方が西洋人を支配して居つたし又日本に於ても矢張りさう云ふ考へ方が徳川時代に於て可成り多く現はれて居りました。或は支那人の書いた書物の中にも同一の考が往々見へるのであります。是は或る程度迄は事實なのであります、我々の住んで居る土地、我々の周圍の環境、其他の種々なるものが余り面白くない所でもあります。どうして人も人々の素質が多少加つて來るやうに見られるのであります。

然らば結局人間の素質と云ふものを考へないで置いて只だ外部的な或るもの、條件のみで人間の質の良否、又民族の優劣と云ふ事が直ぐ判斷が出來るかどうかと云ふとそれはどうも出來悪い。此事は色々な理窟を申上げる迄もない事でありまして、一例を採つて考へて見ると、今亞米利加合衆國と云ふ所は物質文明が非常に發達し、之に就いて色々な見方もありませうが——近き將來に於て亞米利加人と云ふものは世界を指導して掛かる程の意氣込みで常に世界の第一位に立つて行くと云ふやうな考で何んでも恐れずにごし／＼、色々

な事をやつて除けるのであります。其の意味に於て彼の亞米利加人は世界に於ける最も優れた國民として見られて居るのであります。或る見方からすればどうしてもさうなくてはならぬ様に考へられます。併しかくあればとて亞米利加の物質的環境と云ふものが亞米利加人をしてさうあらしめたのであるかどうかと云ふと、必しもさうでないのであります。その證據には彼處には御存じの通りに亞米利加印度人と云ふ人種が古來住んで居つたのであります。此の人種の數はどの位居つたかよく解らないのであります。確かに何千萬人と云ふものが居つたのであります。所が是等の人々は彼處に何千年或は何百年の間住んで居つたか知れませぬが、彼等はずいぞ高等の文明を形作る事が出来なかつたのであります。あれだけの土地、あれだけの自然を持つて居り乍ら彼處で何等人目を惹くやうな文明を建設する事は出来なかつたのであります。

然るに歐羅巴から白人が彼處に入つて來ると云ふと、直ちにあの國を亞米利加印度人時代のものとは全然變つたものとして、今日の亞米利加に於てのみ見られるやうな獨得の文明を同じ處に形作り得たのであります。それ故に此の事實を以つて見ますと、決して物質的な、色々な衣食住を供給するやうな周圍の状況だけがある民族の形作る文明を高いものに

するとか、或は又斯の如き高い文明を形作る程に民族の素質を優等なものにするとは考へられないのであります。それに依つて見ると只だ物質的の條件が備つて居ると云ふだけでなく、そこに住む所の民族の根本的の素質が立派なものでなくては、それ等の國を開發しそこに立派な文明を建設するやうな事は出来ないのであります。さう考へて見ますると何れの民族もそれ／＼に或る特有の素質を持つて居るので、所謂物質的環境に於て或る程度迄は多少是を變へて行く事も出来ませうけれども、只だ其の種々の衣食住の關係以外民族それ自身に特有な何か變つたものがあるのではなからうか、さう云ふものがないならば亞米利加印度人があの亞米利加と云ふ所に居つた永い年代に既に何程かの程度に於て一つの或る特有の文明を形作るべき筈であると考へられるのであります。然るにそれが出来て居ない所を見ますと云ふと、矢張り只だ物質的環境だけでなくして民族の素質に我々が依頼する所があるのではないかと斯う考へるのであります。

さう云ふ事を考へて見ると只だ物質的環境のみに於て大いに素質を良くすると云ふ事は出来ない、で吾々が劣悪人を排除して優等な民族になつて行くこと云ふ事は只だ物質的環境だけでなくそれ／＼の或る特有の素質があつて、それに依頼しなくてはならぬと云ふ

事を考へて参ります。各民族はさういふ一定の傾向を持つて居るのであるから是は仕方がないぢやないか、或る程度迄は行くかも知れませぬけれども、民族それ自身が是だけを持つてやつて見た所でなか／＼急に發達しない。併しながら素質の良いものはさう外部から色々な事を注入しなくとも自然に良くなつて行く、従つて民族を改良する即ち吾々人種の素質を良くすると云ふやうな事は外部的からでなく、それ自身の持つて居る素質が變つて來なくてはならぬのであります。吾々の根本的に持つて居る所の素質が悪ければ仕様がなないこと、諦めるより外はないと云ふやうな考へ方が出て來るのであります。さう云ふ考へ方で色々人種を見るとあるものは百と云ふものを持つて居り、或る者は八十しか有つて居ないものもある、是は八十のものは初めから八十でござつても仕様がなないぢやないかと云ふやうに考へるのであります。併しさう云ふ點だけで無しに、同じあるものなら其の有つてうまれた素質を高くして行かふ、元來どの人種でも望ましくない性質があるもので、例へば同じ日本人にしても非常に好ましくないやうな素質を有つて居る人がある。即ち精神的に非常な缺陷があつたり、或は肉體的に身體が薄弱なる者を見受けます。そこで生れ乍らにそふ云ふ缺點を持つて居るものは仕方がないが、次の時代には出來るだけさ

う云ふ人々が出ないやうに努め、こゝにいふ人々を根絶する様な方法を考へなければならぬ、さう云ふ方法を考へない場合に於ては悪質者が殖へて來ると云ふ事になり、悪質者の爲に悪くないもの迄がより一層多くの苦勞をしなくてはならぬと云ふ事になります。例へば病人と云ふ事を考へて見ると、一人の人間が病氣を致しますが、先づ少くも三人の人間が何事もしないやうなものと同じものであります。考へて御覽なさい。病人がある。すぐ病人を看護すると云ふ人間が出來て來る。そうするとその病人を看護する人間が消費する所の品物を作る人間が無くてはならぬのでありますから、そこで調べて見ると三人前程の人手間を要するのであります。丁度それと同様に或は人手間の掛かるやうな精神的なり、或は肉體的なりに非常に薄弱なる素質を有つた人間が生れて來ますと、其の爲に健全なる人間の手間迄も其の方取られて仕舞ふことになりすから、其れでは折角一生懸命に働いて優等な文明を建設しやうと思つても其力が鈍つて來るのであります。だからして出來るだけ素質の悪い人は其中に止まらせない様にするといふ事がどの民族に於ても非常に必要な事でありす。繰返す様ですが、百なら百、八十なら八十の根本的の性質を持つて居る民族の中で更に劣等な者があるならば既に生れて來た者は仕方は無いが、然しさういふ者

は出来るだけ起らない様にしようと言ふ事が之が最も望ましい事として之については色々な方法を求めるのであります。

古代に於きましては夫のギリシャと申す國は非常に高度の文明を建設した國であります。此の國に於いて悪質者を根絶する方法が盛んに行はれて來たのでありまして劣悪なる素質を有つた人間があれば其の子供を残さない様に色々な方法を実行して來たのであります。夫の有名な哲學者であるプラトーの如きは極端な程度迄で其を実行する様な案を建てたのであります。が、然し其の案は實行されずに終りました。プラトーの此の案は結婚と云ふ事は是によつて將來立派な國民を其處に産み出す様な希望のある人にも限定し、其れ以外には結婚はさせない事にする、もし、萬一身體の非常に薄弱な子供が生れたら直ぐ殺してしまふと云ふ様なやり方で今日から見れば随分亂暴な事と考へ得る様な事を強調し國家はさういふ風にして行かなければ國家の優等文明といふものは出來ないとこふいふ事を切言して居るのであります。併し時代は變りました。こふいふ劣悪な人を残さない様にすると云ふプラトーの考へ方は依然として今日もあるのであります。

例へば我國で結婚の時に家筋を尊び、血統を調べるといふことを非常に重んじて居ます。

が是はさういふ事かと云ふと、悪い素質の人が遺ると云ふ事は將來民族の爲に非常に宜しからぬ事であると共に延いては自分の一族の上にも非常に困る事であるから、悪い素質の人が家族の中に入つて來ない様に家筋の正しいのを選んで結婚をしようと云ふ事になつて來て居るのであります。家筋を尊ぶと云ふ事も勿論金と云ふ事に支配されて殊に其れを行ふとした努力の跡が窺はれるのであります。悪い家筋とは何んなものであるかと云ふと先づ第一に精神病者、之に次いで癩病者の系統、結核の系統等であります。以前は結核を今日よりより以上に嫌つたものであります。が之は結核に對する豫防方法が巧く行はれなかつたからであります。次に癩病筋や精神病者の系統といふものも非常に嫌ふのは、理由のないことではないのであります。精神病の如きは元來治療の方法が無いのであります。私の兄は醫者であります。が、何の醫者に問ふてみましても精神病者はさうも治療の方法が無いらしい、外の病氣は或る程度迄は病氣を強くさせないと云ふ事は出來るが、精神病はそれさへ出來ないといふ事であります。兎に角非常に治りにくい病氣であつて、又子孫に迄で其の影響を及ぼすといふ處からさういふ子孫を残さない様にするといふ事が日本と同じ様に西洋に於て考へられて居たのは東西其の行き方を一つにして居つたといふべ



きであります。

もう一つは所謂同じく百なら百といふ素質を有つた一つの民族の中に於て、更に優等な素質を有つたやうな人の出現を奨励し、又出現する方法を考究する。即ち民族素質の向上であります。是に就ても随分色々な事があるらしいのであります。最も簡單なものは社會的に立派な働きをしたといふ様な人に對しては其の子孫の残り易いやうな或る一定の特権を與へ、其の特権があるが爲にそれ等の子孫を永く傳へることが容易になるといふ方法が考へられたのであります。そこで是等の人に對し貴族といふやうな色々な特権が與へられたのであります。其の人の家族などに於ては必ずしも民族的に人間としての素質が良いとは限らないが社會的に立派な働きをした人は良い人であるから、さういふ人の子孫が遺れば良いといふやうに考へて居るのであります。

此の如きやり方は無論一方から見れば確かに不公平であります、しかし全然意味のない事ではない、ない處か却つて重要な意味を持つて居るといふ事も考へられるのであります。又極端な例でありますが—日本に於ても昔から或る地方に於て行はれた事であり、—民族中の優等な人々に向つては其の人の子胤を貰ふと云ふ事をやつたのであります。

所謂社會的に優秀な人であると見られると、此人には澤山の配偶者を持たせる。多妻制度を採用する。多數の妾とか、妻とかと云ふものをその人に侍らせて一時的に婦人を近け子供を産せると云ふ事が、未開人の間にて往々行はれたのであります。我が國でも或る地方では旅行者が來ると其の人々を尊敬すると云ふ意味に於いて其の地方に於ける身柄のよき人の娘或は妻と云ふやうな人が接待役に出て來ると云ふ風な事が現在でもあると云ふ事を聞いて居ります。さう云ふ事は矢張り旅行者として邊鄙な場所まで來るやうな人は優れた人であると考へて其人の子胤を遺すと云ふ事を致したのであります。さう云ふのは極く特殊の例でありますが、さう云ふ事からして色々な子供を澤山産んだとか、又非常に立派な國民—英雄豪傑を産んだと云ふやうな人々に對しては特に之を保護する意味で賞與をやること云ふやうな事が從來行はれたのであります。是は民族の質を良くし、立派な素質の人間を作ると云ふ事が重要な動機となつて昔から行はれて居る事でありまして現在に於ても尙特に一つの重要な問題であります。

現在に於きまして我々から見ても其の素質が好ましくないやうに考へられるやうな人々の數は一寸申上げかねますが非常に多い。のみならず、其の數は年々増加して參ります。

文明の程度が高くなれば成る程段々多くなつて参ります。簡単に其の理由を申し上げます。例へば茲に人間が百萬人居るとします。此の百萬人の人間が皆な同じやうに黍園子を竝べたやうに見えますが其の實はそれ／＼多少違つて居るのであります。であるから今吾々は現時の文明の高さを百萬人中の九十九萬人丈けは是を味ふだけの脳力を持ち、又是を形造くる資格を持つて居るものと考へますと、残りの一萬人だけ之を建設するだけの脳力もなければ、又作つた文明を味ふ資格もない。詰り脳力資質が非常に劣つて居るのであります。所が文明の進歩は駸々として休まないから霎時すると其の上の文明に到達した。すると是等の一万人の人の子孫も生れて来る。そこで今度は八十万人丈け人間は此の一段上の文明を形作り且味ふと云ふ脳力がある。所が残りの十九萬人といふものは其の文明を形作る事も亦味ふ事も出来得ない脳力の持ち主となるといふことになります。

で小學校の先生が子供に物事を教へて見るといふと早く物事の會得の出来る子供も出来悪い子供もあると同じ事であります。そこで現在の文明を味ひ得る人間も段々文明が高くなればなる程、高い文明を建設して行く人間も、其の文明を味ふ人間も共に益々少なくなつて行く。之を放置して置けばある段階に於ける文明の落伍者は益々多くなつて行く。そ

うして見れば吾々としては此の落伍者を放置して置く譯にはいかぬ。しかし此等の落伍者に對しては非常に手数が要るのであります。

今日日本での各種の社會事業は斯ういふ意味から國民全体として進んで行くといふ方法を考へ、そして是を實行する事が今日の社會事業の要素となつて居るのであります。

要するに一つの民族は一つの團體であります。團體は團體として進んで行かなければなりません。前段に申しました文化の建設といふ方面に落伍する所のものを保護して出来るだけ之を少なくする事を吾々が求めるならば、今あるものは仕方がないにせよ將來はさういふ素質の人間が出来る丈け残らないやうにするといふ事を考へなくちやならぬ。吾々が高等な文明を形作らうとする努力が強ければ強い程、日本の文明を一層高い文明たらしめなければならぬといふ念願が強ければ強い程、落伍者に對する措置が講せられなければならぬのであります。今日世間で盛に論議されて居る色々な保健問題即ち或は結核豫防、或は花柳病の豫防、或は八種傳染病の防遏問題とかいふ様なものは結局吾々が將來生きて行くのには非必要な事でありませぬ。であるから民族の中で非常に病氣に犯され易いやうなものや、どうしても治療の望のないやうな罹病者を人類の中から根絶して仕舞ふといふ事に窮

極は落ち行かなくてはならぬ事だと思ふのであります。さういふ理由で保健問題に關聯した所の人口失業問題と人口問題は極めて重要な問題であります。

## 2 失業問題と人口

次は失業問題であります。吾々が生存して行くといふ事の爲には物資を作らなくてはならぬ。人間はつまり物を作るといふ事に向つて働いて居ります。元來人間といふものは働くといふ精神の鈍いものでありまして眞面目になつて働くといふ事は考へられません。自身から働き度くて／＼仕方がないといふ人間は極めて寥々たるもので、出来るならば自分の好き勝手な事をやつて遊び度ひといふのが本心であります。それに、かゝる傾向を有する人間が此の位程度の高い文明を形作つたといふ事は、余程人間中の高等な人間のやつた事であらうと思ひます。そこで一人／＼の生活に満足して過ごして行く事が出来るならば先づそれで差支へないといふ事は如何なる民族に於ても同じ事であります。台湾の民族は貯蓄心が無いと申します。是は事實だらうと思はれます。我々の如き高い文明を形作つて行くといふ事の上にはそこに慾が出て来るからであります。品物を余計持ち度いといふ慾望が湧き吾々の生活に必要な品物を形作る爲に自然力といふものに人爲の力を加へ、

さうして吾々が茲に要求する所のものを作ることになる。さうして出来た品物は之を吾々の生活に取り入れて行くのであつて、其の究根の目的は物であります。

そこで物を求め度いが之には自然に加ふるに人力を以てせなければならぬ。併し無暗に自然に對して人力を加へさへすれば、巧く物が出来て来るかといふと自然を支配するに就て自然に加へる力には限度がある。或る人間は「自然」に「人力」を加へるが、或る人間は加へない。或は自然力は多いけれども、加へるべき人力が無いといふ地方もある。言ひ換れば一方には人口は不足して居るが、自然の範圍が非常に大きく有り餘つて居る地方もあるし、他の一方には自然の境界は限定されて居るが人間は余つて居るといふ地方がある。さういふ地方では人間は働く事が出来ない、併し人間の生活資料は矢張り求めなければならぬ。さういふ條件の下にある人々が即ち所謂失業者であります。

失業者といふのはつまり人間の數の問題から来るものであります。自然に對して加へる所の人間の力の量、是は大體に於て定つて居ります。それから生産條件の良否は、人間の力の量を左右するものであります。物を拵へる所の技術が幼稚であるならば幼稚である程、物資を生産する上に多くの人力を要するのであります。是に反して物を拵へる技術が

段々上手になつてそれが發達すればする程、人間の數は少くして濟みます。ですから、吾々が物を要する程度が同じであるとすれば、自然に結付ける所の人間の數は技術の進歩に逆比例して減つて來るのであります。繰返して申しますが我々の生活程度を百で顯はし、今迄は百萬人といふ人間が百の生活程度が必要であつた。所が一方に物を拵へる技術が進み乍ら生活程度が百といふものに止つて居るとするならば、今お話した通りに、人間の數は澤山要らない事になつて、百萬人といふ人間を要した仕事が、或は八十萬人或は七十萬人で濟むことになる。所が實際はさうでなくて生活程度もいつまでも百に止まらないで、百二十若は百三十といふやうに進んで行きますからして、此の品物を百の程度に拵へて居つては足らなくなるは見易いことであります。それで自然に結付けて人力を使ふ技術は發達して來れば以前の百萬人は或は九十萬、八十萬といふ程度迄は減るかも知れないが、又或る場合には前と同じ人間の力の量を要することも起り、人力の減少といふことは實際無暗に起るものではない、といふ事も考へられるのであります。

所が一方には人間の數も決して何時迄も同様では居ない。否反對に非常に殖へて行きます。故に自然に放任して置けば如何なる民族でも其の數は殖へるものであります。現在で

は日本人より西洋人の方が子供の數は少ないのでありますが、産めるだけ産ませるとなると子供は澤山に産めるものである。西洋人で一番多く子供を産んだ例に擧げられるのは一つの腹で三十五人産んだ婦人であり、又私の知つて居る西洋人の家族に十三人、十四人十六人といふ様なものもあります。私は曾て中部亞米利加で羅馬舊教の非常に盛んな都市を旅行した時に、或る農家に泊めて貰つて或る特殊の視察をしたことがあります。私が其の地方で泊めて貰つた農家では大抵六、七人の子供があり、多いのは十人以上ありました。米國で産兒の多いのは決して其の地方だけに限つた事ではないが、私の見ました地方は舊教の信仰の強い所であり、決して子供を制限するといふ事をしない、産めるだけ産むといふ事にして居るので、子供の數が非常に多いのです。併し或は新教の信仰の盛んな地方或は大都市方面に於きましては子供を非常に制限致しますからして、全体としては子供の數が少ないのであります。

所が日本はどうかといふと、大体に於て今は産めるだけ産んで居りますが、私は先年東京帝國大學の經濟學部及文學部に學んで居る學生の戶籍謄本約二千通ばかりを集めて戸籍謄本に就て學生の親がどの位子供を産んで居るかといふ事を調べたのであります。其

中に現に配偶關係を持続して居る四十五歳迄の子供を産んだ婦人を記載して居る戸籍謄本が全部で千七百通ばかりありました。所が是等の婦人に就て調べて見ると一番澤山子供を産んだのが十六人であります。是はごういふ意味を持つて居るかといふと、帝國大學の生徒の家庭の日本に於ては、ひどい不道徳な事を考へるやうな不健全な家庭ではないであらうと思はれますから、富の程度に於ても亦さう極貧といふ所に接近して居る人々ではないだらうと思はれますから、先づ日本に於ては中等程度以上の生活に最も近い人々の家庭であると思はれます。斯ういふ家庭に於ける産兒の一番多いのは十六人といふことになつて居ります。尤も十六人が十六人皆な育つて居る譯ではないのであります。でありますから子供は産めるだけ産めば随分澤山産むものであります。

元來人間といふものは子供がよく生めるものであります。之が産めない程貧乏になるといふ事は余程の貧乏でなくてはならぬのであります。身体が非常に不健康であつても子供だけは産れるのです。是は醫者の方の研究に關する事でありませんが、醫者は人間の生殖といふ事は榮養の爲には直接阻害されるものではないといふ事を言つて居ります。兎に角吾々が調査した所に依つても榮養が悪くなつて子供が産めぬといふ事はない、貧乏人の子

澤山といふ事は榮養が悪くなれば悪くなる程却つて子供が多くなるのぢやないかといふ風に考へられる事實があつて、昔から誰も能くいふのであります。極く平和な家庭とか、貧しき家庭とかには概して子供が多いのであります。子供の少ないやうな家庭では或は不道徳な事を少しはして居るのであります。皆がさうだといふ譯ではありませぬが—先づ概して言へば、子供の数は親の數よりか多くなるのが當り前であります。

そこで世界の文明が發達すると共に、物を拵へる技術も之に伴ふて發達する事になりまして、自然に結付いて人間が要求する物を拵へる仲間に人間全体皆が這入つて行くといふ事は出来ない。即ちそこで失業するといふ事になるのであります。我が日本國は幸か不幸か知りませぬが、自然界に余り恵まれた國ではないと言はれて居ります。所が、非常に自然界に恵まれた國であるとも言はれて居る亞米利加に於きましても、非常に大きな失業問題があります。元來歐羅巴大戰後に於きましては機械工業が亞米利加に於て著しく發達したのであります。それが爲め勞働者の數が以前に比較して著しく要らなくなつたのであります。日本に於ける機械工業の巨人である八幡の製鐵所に行つて見ると直ぐ解る事ですが、非常に大きな工場であり乍ら其の中に働く人間の數は極く僅少に止まつて居るので

あります。さうして極めて大きな仕事でも職工が五、六人でやつて居ります。レール一本を拵へるには普通の鍛冶屋では二百人分も三百人分も人力が要るのですが、之を機械で拵へますのを見ると恰度石花菜を延ばすやうに直ぐ出来て仕舞ふ。それで此のレールを拵へる機械を動かすのには二人の職工が居れば事は足りるのであります。文明が進めば斯様に物を生産する方面に要する人間の数は減少して、人力が非常に余つて來るといふ事になります。少數の人が物資の生産に働くことになれば多數のものが仕事に放れる。放れても其の人間は物を食べないで居るといふ譯に行かぬのでありますからそこに色々の問題が起るのであります。

も一つは人間は一面には今迄申したとは反對に何かしたいといふ欲望があります。詰り創作慾といふものでありまして是は人間のみの特有な事でありませぬ。人間がなければ斯ういふ事は出来ません。自分自身の力で以て物を拵へるといふ事に人間の偉い處があります。是等の出来ない人はそれは人間としては非常に價値の無い人でありまして、之と反對に創作慾のある人は非常に人間價値の高い人でありませぬ。それは一休ごういふ事であるかといふと、自分達が自分の力を打ち込んで物を作り上げて行き外の人の眞似の出来ないやうな

ものをそこに畫き出すといふ事でありませぬ。自分自身は今世の中に生きて居るのだといふ強い自覺心のある人は所謂人格を持つた人で此の自覺心に基いて物を造り上げて行くといふ事がそこに人間の創造慾を轉開させて行くのであります。斯の如き創造慾に基いて仕事をやる人こそ人格價値の強い人であるといふ事が出来るのであります。

彼の交通の頻繁な往來に立ちて交通を整理する交通巡査といふやうな職務は唯だ道を通る人に或る時には此方の人間を通し、或る時には彼方の自動車電車を通したりするといふ簡單の事をしさえすればそれで宜いといふやうに誰も考へるのです。成程此の交通整理をやるといふ事はどの巡査にでも出ませう。しかし『俺の交通整理といふものは俺の力に依つて外の人に眞似の出来ない事を巧くやつて見せる』といふ事になれば、矢張り交通巡査は交通巡査として特種の人格價値が現はれて來るのであります。斯う云ふやうに自分の仕事に全力を打込んでやるのは他の人間などに眞似る事の出来ないものであるといふ考の中に其の人間特有の價値が現はれて來るのであります。仕事に於て大小の程度はあるとしても、如何なる人間にも皆此の特有の性質があるものでありまして、人格價値といふものは、外部から見たならば同じやうなものかも知れませぬが、『自分でなくては出来ない所を

やつて居るのだ』といふ自覺心に基いてやつて居るといふ事が大事なことであります。自身に存する特有性は外形の物質に依つて包んで居るから、外部からは結局人間の顔を見る様なもので格別何も變つた事は有りはしない様に思はれる。自分といふものゝ内部にかゝる特有性を備へた何物をか持つて居るといふ事は自分に對する偉常なる強味で、其の特有なものを持つて居るといふ自覺心が其の人の誇りとなるものであります。

それであるから自分の創造的の自覺心に基いて出る力が働き掛ける場所が無いといふやうな場合と只だ働きをしないで喰つて行く事が出来ないから已むなく仕事をするのだといふ場合とは同じ仕事とは云ひ乍ら兩者の意味が大に違ふのであります。仕事をしなくては月給が貰へないから仕方なしにさういふ仕事をするのだといふ事より外に、自分の精神的の力の現はれとして此の仕事をやつて行くのだといふ様な氣分の方面—かういふ精神は如何なる人間に於ても大なり、小なり皆なあるものであります。自分の力を仕事に向けやうとしてもする仕事のないといふ事の苦痛は勞働に従事するといふより生ずる苦痛とは一種違つた特種の苦痛を興へるのであります。詰り働かうにも働く事の出来ない、働き度くて仕方がないけれども、吾々の創造力を向ける事の出来ないといふ方面から來る所

の苦痛は人々に取つて非常に大きな苦痛になつて來るのであります。しかし人々に取つて苦痛であらうが、なからうが、吾々の文化が段々發達するにつれて機械學の應用といふ事になり、人間直接の働きを要する程度は段々少なくなつて行き、過剰人口といふものが出て來る。つまり人間創造力の消化が出来なくなるのだから、之を如何に處置するかといふ事その事が今日大きな社會問題として存在するのであります。

それで英吉利では失業者の措置については莫大な國費をば費して居るのであります。日本では只今は此の失業者をどういふ風に處置して行くかといふ事の具体案が出来て居ないのであります。仕事はしたくても仕事をする事が出来ないといふ、仕事の外に投げ出されて居るがしかし生きて行かなくてはならぬといふ人々の生存を如何にして保證するかといふ事が所謂失業問題としての重大なる問題でありましてその爲には非常に大きな費用を要するのであります。其の人達に仕事が無いなら、自分で死んだら宜いぢやないかといふ様なことをいふ、かりにさういふ事を自分に對して言はれたらと考へて見ると、人が如何に失業して居るからといつて其の人に死んだら宜い、死んで仕舞へといふ事は言へません。失業した者であるからとて必ずしも能力がないといふ事はない。社會事業の相手方とする

のは或は精神的の薄弱者とか、或は肉体的の不健康者といふが如きものでありまして、そんな無能力の人間ですらも、近頃の世の中では之を助けて行つて居る時であるのに只だ失業しただけで以て之を捨て、置く事は出来ないであります。

そして斯ういふ人間の數といふものは物を生産する技術の發達に連れて益々多くなるにも係はらず、さて之をどうするかといふ其の具体案が無いのです。歐羅巴に於ては失業對策として失業保險法といふものを制定し人が失業した時に保險金を給付するといふ事があります。即疾病保險と同じものを考へてゐるのであります。之に於ても尙ほ非常に大きな費用を要するのであります。其の費用は何處から出るかといふとそれは即國庫であつて、決して町村とか地方からは出るものではない。所が國庫が果して斯んな負擔に堪へるかどうか疑はしくなる。果して是だけの負擔を國庫が負ふのには増税といふ事を以て財源に宛てなくてはならぬ、所が失業者の保護に對して其の費用を我々から搾り取るといふ事に對しては國民は大反對である。そこで此の失業救済の問題だけは各國共に頭を悩ましてゐるのであります。將來益々大きな問題になつて來るであらうと思ふのであります。

### 3、農村及都市問題と人口

其の次は農村問題と都市問題といふ事でありませう。是はさういふ意味を持つてゐるかといふと農村と都市とは同じ人口問題にしても其性質が違つてゐるのであります。農村は子供を産む、そして之を養育する、そして出來た子供を都市にやる。養育してやると其の先は詰り生産活動をするのであります。子供が生産活動をする時期になると都市に出て行く、而して其の多くは都市で死んだり、又は病氣になつて働く事か出來ないやうになると農村に歸つて行くのであります。そこに農村の人口問題が生じるのであります。都市の方は全國の總ゆる方面から多くの人が移住して行く。それで都市の人口は過剰を來たし人口の密度が高くなつて來るのであります。此の密集状態から來る所の總ゆる都市的の罪惡が起り、その爲に都市の人口問題が起ります。農村の方はそれとは反對に働く人々を都市に取られて仕舞ふといふ所から茲に人口問題といふものが出來るのです。詰り農村では漸く子供にも手が要らなくなつて、一人前の仕事の出來るやうになつて來ると都市に出て行くので困るのです。

尤も、都市に於て金儲をして親の所に送つて來るといふやうな子供もあるものであります。が（是は男子は比較的少ないが女の場合は可成り多いのであります。）是は實に日本特有



の現象であります。しかし西洋ではさうは行きません。向ふでは子供の儲けたものは子供のもので決して親がそれを取る等といふ事はしない。例へば親子一緒に居つても屹度部屋代を拂ひ、食料を拂つて居りまして其の後は自分が取つて置くのです。所が日本は今言つたやうに親から小遣は貰ふかも知れませぬが、儲けた金は親に出すといふ傾向が可成り多く今でも行はれて居ります。しかし、それにしましても段々男の子は親に對しても金を送るといふ事は少なくなるのであります。さうなつて來ますと丁度費用を掛けて農村で育て、而して都市に取られては仕舞ふ。そこで農村に於ては働き盛りの人間が居なくなるので、農村は疲弊します。此の農村の疲弊するといふ事は其他にも緊要なる關係もありませんが、實に重大なる農村の社會問題又人口問題として最も注意すべき事でありませぬ。

私が爰で農村と貧民窟とを比較し之を同一視しては悪いかもありませんが、併し私が都市の貧民窟を随分調べた處では兩者の間に同一の現象を見出すのであります。それはどういふ事になつて居るかといふと貧民窟では一歳から五歳迄、六歳から十歳迄といふ子供は割合に多いが、十一歳から十五歳、十六歳から二十歳と斯ういふ所になると其の数が減つて來るのであります。それから四十歳以上になると又多くなつて來ますが、詰り十五歳か

ら三十歳迄の人間が非常に少ないのであります。是が貧民窟の人間を數から見た特色でありまして貧民窟の中に入つて見ると能くそれが解ります。貧民の中で働き得る者と、働き得ぬものとの比は、後者が全体の三分の一以上を占めて居るのであります。そこで丁度働き盛りの者が極く僅しか居ないことになり、従つて、益々貧乏の度を高めるといふ事は分り切つた話であります。

此の状態は全然農村に於ても其の趣を一つに致します。農村といふ所も農村で養ふ子供が澤山居りながら、十分に働き得るやうな年齢になると、全部ではないが都市に移つて行きますからそれが爲め農村の生産活動といふものは非常に阻害されて參ります。(それは農村に居つても働く場所が無いからといふ事も一つの原因であります)是等の人々をして働かしめれば農村は非常に生活のし易い所でありますが、斯ういふ人を他に取られて仕舞ふからして生産活動の出來る者が少なくなるので全休として農村はどうしても疲弊せざるを得ないのであります。

であるから活動盛りの人間が何程かの關係に於て都市に流れて行くのにも係はらず、之を育てる費用は農村の負擔になるのであるから、都市に農村から移住した人間の今迄の養

育費をば都市からして農村に戻して呉れるといふ事ならば又話は別になるのであります。現在の市全体としての生活程度も文明の程度も其の發達の仕方にも非常に大きな差異が出來て來ますのも斷ういふ養育上の費用を非常に多く負擔してゐるからでありまして、其の様子が都市は丁度手の入らぬ働き得る人間を取つて來ることになり、自分の家で子供を産んだり、育てたりしないで能く働くやうになつた年頃の養子を貰つて來て養親父が樂に暮しておるといふ事と同様であります。詰り農村に於ては生産能力を持たない者を養育して漸く一本立ちになるといふ時になると都市に取られて仕舞ふといふ事になるので農村は非常に貧乏をするのであります。

それで小學校の教育費を國庫負擔にするといふやうな事も言はれておるのであります。政友會の内閣では斯ういふ方針の下に地租を委讓して地方の負擔を多少でも助けるといふ事を言はれたのであります。農村の負擔を出來るだけ都市も同様に負擔するやうに全國的に此の農村の負擔を分擔するやうにしやうといふ事は何處の國でも同一であります。是は自分の産んだ子供だから君等が育てなければならぬといふ理窟を付けて、其費用は凡べて農村にもたせ一人前の人間になる迄は農村に育て上げさせやがて一人前の人間になつた

ら其の生産的活動力を都市に取上げて仕舞うのであつてどう考へても馬鹿げた話でありませぬと思ひますが、さういふ方法に依つて農村の負擔といふものは幾らか削減されるかも知れませぬにしても、併し教育費などいふものは子供を育てる費用の中から言へば全体の何の一分になるか分らない程少ないものであります。それよりもつと／＼大きいことは都市に行く子供の養育費を都市の方から農村の方に賠償して來る道がないといふ事、是が所謂日本の農村が都市に對して益々文化の程度が遅れて來る一大原因であります。此の外に農村に於ける金融農作物の販賣方法が農業技術といふやうなものが、都市に於ける所の生産功程の様によく行かないといふ事もありますけれども、それよりもつと／＼根本的問題としては農村が人口の量の上に於て非常に大きな負擔をしなければならぬといふ事が人口問題から起る所の農村問題として一番大きな問題であります。

であるから之を若し公平にやらせやうとすれば人間を養育するといふ事に於ては凡べて國庫負擔をしなくてはならぬと思ひますが、是は如何なる國に於てもやつた所はないのであります。そこで亞米利加に於ても矢張り農村問題といふ事は八釜しいのであります。併し米

國の農村は日本の農村とは全然生活の方法に於て違ひ、農業の仕方にも於て違つておるのでありまして、日本には日本獨特の特色を持つて居るのであるから、是は日本の農民といふものだけを基準として考へなくてはならぬのであります。農作物販賣の方法、日用物資の購買方法、斯ういふものは色々其の組合が出来て居て、色々研究されてはおるが、今日の農村に於ては色々やつて見てもどうしても損をするばかりであるといふ具合になつて都市移住の風か盛んになるのですが、愈々極度に至るまで農村の人口が減つて来れば農村に於ても亦仕事をする余地があるやうになります。さうなると今度は都市移住といふ傾向が鈍つて来て、都市に移住した人は都市に於て養はなければならぬといふ時代に變つて来るのでありますから、此の方面から来る所の農村の負擔は無くなつて来るのであります。が併し其の時期になる迄は農村が都市の爲に非常に大きな負擔を蒙るといふ事、是はなか／＼片付くものではない、此の負擔が無くなつて来なければ農村の文明の發達の程度と都市の文化の發達の程度と同様になるといふ事は出来ないのであります。そこで結局は何うしても農村の人口問題といふものの解決の付くまでは到底望みない事でありまして、それから今度は都市の問題であります。是は今のとは全然性質を異にして居りまして第

一は都市は移住者が非常に多いのであります。是は都市は仕事をする場所が多いといふことと都市は農村よりは仕事の種類が澤山あることからそうなるのであります。併しそこに入つて来た人間が皆な仕事に就けるといふものではない、元來都市は人間を備つて生産活動に向けるのであります。是に就ても最も安く働く人間と最も仕事を良くする人間が喜ばれるやうになつて来ます。もし働かうとする人が多くあつて仕事に就けないといふ場合には一日一人一圓五十錢で働くといふ處であつても一圓三十錢にそれではまかせませうと云ふ事になつて来ます。之を品物に例へて見れば労働は一番早く腐る品物であるといへます。労働はすぐ使はなければ腐つて仕舞ひますから何しても其の日の中に一圓五十錢で賣れなければ一圓三十錢でも宜いから賣らなくてはならぬといふのはここであります。

東京市役所で労働市場に勤めて居る人の話を聞きましたが、其人は朝五時に起きて切符を持つて労働市場に行くのであります。さうすると労働者は労働市場に這入つて来る。其の這入つて来た人の中から此人なら出来さうだ見込をつける。其の切符を渡してやる。渡された人は切符を以つて仕事場に行くのであります。さうして居る中に仕事にあぶれる奴が出来て来る。其の人間はさうにかして仕事にあり付ふとしますから其の時には安くて

も宜いから何處か働く所はないかと云ふ譯で、一番終りに残るやうな切符札に對しては非常な喧嘩が始まることもある。又其の切符札を渡すと云ふても、其の人間の顔を知つて居るのではないのですから、其の容子とか顔色とかを見て札を渡すのですが、終には仕事に溢れた者達から怨まれたり憎まれたりして或る時は擲られるやうな事も度々あります。併しそれ等を恐れてはこんな連中の世話は到底出来ない譯であります。そこで結局一圓五十錢のものでも一圓四十錢、一圓三十錢と下るのは當り前であります。斯う云ふ具合になるのが都市の人口過剰に伴ふて起る現象でありまして、労働市場に劇烈な競争が起つて來るのです。

山口縣當りでも近來朝鮮人が非常に入つて來ます。朝鮮人は工場労働者には向かないから普通の日傭労働に従事するのでありますが是が近來非常な勢を以て内地に流入し來るのです。その結果は内地人の労働者は朝鮮人の爲に仕事を奪はれるのです。そして朝鮮人は内地人が一圓で働く所を五十錢とか、七十錢でやります。それが爲め一層内地人の自由労働者は窮迫を告げ多くの貧乏人を作ります。その結果これ等の貧民が群集して居る貧民窟に於ては總ゆる罪惡が出來ると云ふのであります。志のある人達が其の人達に向つてお前

達、そんな不品行な事をしてはいかぬと言つてもそれは何んにもならない。一錢や二錢の金を賭けて博打をやつて居る、電車の通るのを見て今度の番號は奇數か偶數かと云ふ事で金を賭ける。是が電車博打といふので一番金の要らない博打であります。彼等に博打も何もやるなど言へば、こん度は人も物を盗んで來るのであります。搔拂と云ふやうな事は平氣でやります。人の物と自分の物とを區別する様なこともしません。文學である時建築工事をやつたことがありまして、日傭労働者が澤山來たのであります。最近では二百人以上も居りませう。—さう云ふ時には窓の外には帽子でもオーバーでも掛けては置かれぬ、何時の間にかそれを取られて仕舞ふのです。それ等の労働者には人の物を取つてはいけないと云ふ事は通用しません。人の物と自分の物とを嚴格に區別しない密集人口の中で、始終悪い事をして居るのを見て居るから、さう云ふ事には馴れて仕舞つて居ます。どうして取つたかと云ふと向ふから「取られるやうな所に何故置くか」と逆か捻じを食せまゝです。それで斯う云ふ密集部落に居る人々には説教や話は駄目でありまして毎日罪惡が横行して居ります。是かあらゆる都市的犯罪防止に向つて社會が力を注ぐ所以であります。

其他もう一は病氣に關する事であります。都市の密集人口地に居るものはもう衛生思想

を超越して居ります。彼の神戸の貧民窟に行つて御覽になれば是では仕様がないと誰でも思はれるだらうと思ひます。そういふやうな都市の非常に不衛生な、罪惡に充滿したその中に農村から都會に行つた者の何割かが入り込むのです、そして一度這入つたが最後二度と二度農村には歸つて來ないのです。乞食を三日すれば忘れられないと云ふ事であり、また、總ゆる罪惡が行はれて入る處に居ながら其の人は何程かの安心をして居るのでありますが、物が道に落ちて居ればそれを拾つて食つて居るのでありますが、斯う云ふ連中は淺草でも上野でも澤山に居るのです。是等はまだ腹が減つて來れば塵箱の中を探して喰べ物を得たり、夜になれば親音様の椽の下に入つて寝たり、それでも寒い時には塵の中に入つて寝る。(さうすると塵芥の醗酵で塵芥の中は非常に暖かいと云ふのです)併し矢張り繩張りがあつて塵芥の中に入つて寝るのにも五錢とか三錢とか云ふ金を出して寝るので、平氣で斯う云ふ不衛生な事をして居ります。それで抑々之を如何にすべきかと云ふ事が都市の人口問題を作るのであります。

併し都市に於てはまだ方法があるのであります。其の一つは費用を澤山掛けて不衛生の状態を改善すれば宜しい、又非常に密集して居る地區があれば、それを改善して密集させ

ないやうにすると云ふ風に色々之を救護する途もありますが、之に反して既に非常に働くやうな人間を都市に送り出して居乍らそれ等の養育の費用をば農村が負擔して居ると云ふ先刻申しました事實に對しては何等之を償ふべき方法が無いのに困るのであります。

加ふるに都市は生産能力が活潑であるから都市の税金は徴收する事が出来るのであります。或は税金が高い安いと云ふ事は時に問題にもなりますが、東京市の如きは非常に税金が安い、現に私は東京市と郡部の境目の所に住んで居りますから、多少東京よりも地方税が高いのであります。私が曾て埼玉縣の浦和町に住んで居つた時の事を思ひますと埼玉縣では地方税が非常に高くして畧々所得税と同額の地方税が賦課されます。それでどうして斯んなに地方税が高いかと云ふ事を聞いた所が、浦和の人は誰でも負擔が高いと云ふ事を云つたのであります。所が計らずも東京に住んで見ますと地方税は殆んど問題にならない程低率で、所得税の二割にも及ばないと思ひます。是は巢鴨町に於ける事實であります。巢鴨でなくとも何地でも迎も埼玉縣の様な税額は賦課されない、安い事は東京が最も大なるものと思ひます。斯う云ふ具合であるから大都市では地方税は取立てる方法も餘地もあるのであります。所が農村はそれが出來ないのであります。都會に於てはそれが何故出來

るか云ふと、都市の生産活動と云ふものは非常に強く、生産力そのものが強くなつて居る上に税金の賦課方法は昔の通りになつて居るからでありまして其の負擔力は十分にあるのです。で、之に負擔させて、其の費用を以て都市の密集人口から起る所の總ゆる罪惡を除く事をすれば、それは決して出來ぬ事ではないのであります。併しながら農村の方は是が出来ませんのであります。農村及都市の負擔に對して大きな差違のあるのは當分の間に於て拭ふ事の出來ない所の大きな問題でありまして何れも人口問題を中心として考慮されなければならぬ大きな問題であります。

以上四つ程擧げて見ましたが是が所謂社會問題としての人口問題と云ふものの項目の内容中の主なるものであります。

## 二 自然人口と人工人口

そこで今度は其の次に移つて來るのですが、人口をどう云ふ風にすれば宜いかと云ふ事を考へるに就ては、先づ其の豫備的の知識として自然人口と、人工人口と云ふ此の二つの事柄を心得て置く事も必要であります。人口と云ふものに對し人間は如何にして之を制限

する事が出来るか、人口の調節をするといふ事に果して人力が加へられるのであらうか、どうか之を先づ第一に考へなくてはならぬ。是が茲に掲げてある問題でありまして自然人口と申しますのは現在の儘の人間の狀態であります。死ぬるだけ死んで、さうして生きた人間と死んだ人間との差引をして残つた人間を其の儘出して來たもので動物の世界に於ても見られる様な状態に於ける數が、所謂自然人口であります。之に反して人工人口と申しますのは人間の數を或る道德的目的から調節して一定の理想の下に數の多少を加減して人間の數を少くし又多くすると云ふ事に努め、其の理想を實現する方法を講じた上に於て顯はれた所の人間が、是が所謂人工人口と云ふものであります。人工人口と申しますと如何にも人口の上に手細工をやるやうに聞えますが、是はさう云ふ意味ではないのであります。もつと廣い意味の人間生活全体の上に於て人間の數が多くなつたり或は少くなつたりするのにはどうするか、之を伸したり縮めたりすると云ふ事は人間がどう云ふ技術を用ひたかといふことであります。

普通世間には斯う云ふ考へ方が能く行はれて居ります。人が生れるとか、死ぬるとか云ふのは人間の技で出來る事ではない神事である。それに人間が技巧的の人爲を施すと云

ふ事は甚だ神様に對して申譯のない話であることを申します。

併し子供を生むといふことに一切加減をしてはならないと云ふ考へ方は可成り強いのでありまして、殊に昔時歐羅巴の方では甚しかつたのであります。殊に羅馬舊教即ローマンカゾリツク教の信者に於きましては人間の數を加減すると云ふ事は人間が勝手にすべきことではない。生死といふことは神様のする事であるから、吾々が人爲的に勝手に自由にしてはいかぬと云ふ考が非常に強いのであります。

日本でも同じ様に子供が産れたり死んだりする事は人間技ではないと云ふ事を云つて居ります、又縁と云ふものも人間技以上の神聖のものであると云ふ風に考へて居ります。現に縁結びの神様と云ふ所に行つて好い縁のあるやうにと云ふ事を神様に祈りを捧げると云ふ事をやつたり、結婚式の時に神前に行つて誓約をする事をやります。今日では東京や其他の都會地で神前で結婚しますのは結婚と云ふものは決して人間技ではないと云ふ事を意味するものであります。結婚の時はさうであります、離婚はさうでないのであります。離婚をする時に神様の前に行つて折角縁があつて夫婦になりましたが、是ではごうも夫婦仲が長続きもしさうにないから神様の力でごうぞ御承諾を願ひますと云ふ事をやるのが當

り前ならば正しい途であると思ひます。併し之をやつて居らないのです。離婚の場合にはも今迄お前と一緒に縁あつて結び付いたがごうもやれぬから暇をつかわす、お前は此先きごんな縁につかふとも一向俺は何とも思はぬからと云ふ事を書く、昔から離縁状は三行半に極つて居りまして、さう云ふ書き附を手渡しますがさう云ふ風で離婚の方は神様には行きません。こんなには人間としてやつて居る所の極めて不徹底な事であるものの一つであると思ふのであります。

それは兎に角結婚事後の出來事である子供の出生とか又は人間が死亡すると云ふ事は神技であつて人間の手を付ける事の出來ないものであると云ふ考へ方に今でも人間が動かされて居りますが、併し今日の如き文化の發達した時代に人間の數の問題に就て何時でも之を殖したり或は之を非常に減したりする方法を講じたりする事に對して人工的の技術をそこに講ずることになりまして道徳的に考へられるものは何かと云ふと、人口移動、出生の助長及制限、死亡の防止といふ様な事でありませぬ。

1 人口移動

イ 都市集中

日本の人口移動は先程申しました都市移住があるだけであります。都市の人口は現在どう云ふ風になつて居るか云ふと都市で生れた人間の數を零歳から五歳迄、六歳から十歳迄と云ふ具合に調べて見ると、産れてから年の經つに従つて段々死んで行くのですから、年齢の高いもの程數の少ないと云ふ事は是は當り前の話であります。所が都市では事實がそういふ風にあらはれず、十一歳から十五歳と云ふ所で少し殖ゑ又十六歳より二十歳迄、二十一歳から三十歳迄と年齢が進むに連れて段々多くなる。斯う云ふ具合に少なくなる筈のものが段々多くなつて行くのです、是はどうかと云ふと是は田舎から都市に移住して來たからであります。

都市の人民



田舎からの移住民

此の圖中にある點の方は田舎から這入つて來た都市の人間であります。それから線の方は都市で産れて都市で育つて行つたと云ふ人間です。斯う云ふ具合に都市の人口を見ますと田舎から入つて來た人間が半分以上でありますが、それだけ田舎の人は都市に對して人

間を失ふ譯であります。

現に山口縣など縣全体としては人口は減つて居りませぬけれども、大正九年から十四年までの五ヶ年間に村落の地方では幾らか減少して居ります。それは何處かと云ふと大島郡の四ヶ町村玖珂郡で十二、三ヶ町村熊毛郡で四ヶ町村あります。此の室積町と云ふ所は大正九年よりも一寸人口が殖ゑて居りますが、都濃郡では十ヶ町村、佐波郡で七ヶ町村、吉敷郡では四ヶ町村、厚狭郡は八ヶ町村、豊浦郡が十一ヶ町村、美禰郡が七ヶ町村、阿武郡と云ふ所は殆んどどの町村も人口が減つて居ります。殖ゑて居るのは萩だけで其外は全部人口が減つて居りまして、全体から見ると人間の數が減少すると云ふ事を示めて居りませぬが部分として減つて居るのも少くない。しかし人口統計の上では千人に對して十一人づつ殖へると云ふことになつて居ります。

殊に田舎の方では澤山子供が産れます田舎の人は子供を育てる技術が發達して居ると云ふ譯はありませんが、大概が母乳で育てるので大体能く育つのです。所が都會には人口榮養を用ゐます。人口榮養も一層上手になつて來ると乳兒が死なくなるが、普通はさうは行きません。それで日本全体と見ますと都市は人口榮養を餘計に使つて死亡率も高いのであ



りますが、田舎は大部分が母乳で育てるので、乳児の死亡が大體少ないのであります。子供の育て方についての設備に於きましては田舎は随分無理な所がありますが、大體田舎の人は母乳で育てます。或る場合には母親の無いこともありますが、それでも何うやら母乳に近い物を用ひて居るので非常に子供が育ち易い、これが子供は田舎の方が多く育つ譯であります。所がそれにも係はらず農村で人口が減るのは全く田舎の方からズン／＼都會に行くからであります。それで都市人口の全体の半分以上は移住人口から來るものであります。

併し日本の國家全体としては人口の移動状態が外來的であるといふことについて別に著しい事實はありません。それは外國から移住すると云ふ事が少ないからであります。移住の最も大きなものは亞米利加で、米國人の大部分が移住人口であります。そこで最近に於ては外來の移住を防止するやうな方法を考へて居りますが、今迄は殆んど亞米利加の人間と云ふものは移住人口から出來上つたのでありまして、祖父母、父母、子の三代が亞米利加人であると云ふものは極く僅であります。日本の様に移住人口と云ふものがないのは米國とは正反對であります。

口 外 國 移 住

又我國では移出人口と云ふものも僅であります。最近の統計に於て見ますと一年に植民地並外國に出て行く人間は日本全体として約一萬六千人ですが、すつと向ふに落ちつく人口が果してどの位あるかは分りませんが、先づ僅なものであります。でありますから植民は我國に於ては日本人口組成の上に格別な影響を受けないのであります。外國に向つて一番多く移住する人口の多いのは沖繩縣、廣島縣、和歌山縣、山口縣及福岡縣であります。又外國に向つて人の出て行かない點で著しいのは、東北地方中の秋田縣、岩手縣及青森縣と云ふ處の人々であります。さう云ふ風に地方的の差別はありますが、いくら移住して見ても日本は年々八十万人の人間が殖へて行くのでありますから其の百分の二にも當らぬものであります。ですから人口移動と云ふ點から來る所の人工的の人口は日本は都市では問題でありますが、國全体としては問題にならないのであります。

2 出 生 助 長

イ 外 婚 制

そこで此の人工的の人口として考ふべき所の問題としては、我國では出生死亡と云ふ方

面に於ける制限—さう云ふ制限を吾々はさう云ふ風に從來やつて来たかと云ふ事でありま  
す。そこで先づ最初に出生助長、是は人間の数を殖やすと云ふ事であります。出生助長の  
方法として普通に原始時代から行はれて居るのはさう云ふ事柄かと云ふと外婚制度と云ふ  
事であります。外婚制と云ふのはさう云ふ事柄かと云ふと、同じ部落の者の間では結婚しな  
い、他部落の者から妻妾を迎へる、又同じ血筋の間でも結婚しない、といふことでありま  
す。

支那の言葉に「同姓不娶」と云つて居りますが、是は同じ血統の者の間には嫁娶を行は  
ないと云ふ事で外婚制であります。

日本の古俗では餘りこれに拘はらず誰とでも婚姻して居りまして、只だ同じ母親の間に  
生れた子供同志とか、親子とかいふものの間では婚姻してはいかぬと云ふ事であります。

日本の神話に或る神様が同じ母親から出た所の妹と相通じたが故に何處かの國に流され  
たと云ふ事が傳はつてあります。もし違つた母親から出た兄弟同志ならばごん／＼婚姻が  
行はれて居るのです。

又外國の者と婚姻すると云ふ事は現在でも日本では殆んどない。所が支那ではズン／＼

是が行はれて居る、何故かならば非常に血縁の近い間に婚姻が行はれる時には子供の出来  
が悪いといつて忌むのであります。是は慥に生理的にさう云ふ事があるのであります。假  
令ば鶏に卵を澤山産ませやうとするならば非常に異つた種族と交配を行ひます。さうする  
と形や姿は非常に醜い鶏は出来るが、卵は澤山に産みます。それに純血な種の交配をやつ  
て純粹な白色レグホンとかミノルカと云ふものを拵へると産卵数は非常に尠い。さう云ふ  
風に餘り血縁の近いものが婚姻すると子供が出来悪いし、血縁の遠い者同志が婚姻すると  
子供が出来易い。さう云ふ事が直接間接の原因となり婚姻状態を支配することになるので  
あります。未開の時代から長い間の經驗に基いて自分達の子孫を遺すと云ふ事は殆んど總  
ての民族が行つて居るのでありまして、是は皆な自分等の子孫即ち人口を増すと云ふ事に  
努め其の方法も普通に知られて居るのであります。

□ 多 妻 制

次は多妻制度であります。申す迄もなく一人の男に配するに澤山の妻を持たせるのであ  
ります。女の数が多ければ結局子供の生れるのは多い。妻の数を一人だけに制限するよりは  
妻の数を澤山にした場合の方が子供は澤山に出来ます。結局男の数と女の数といふものは

大体似たやうなものでありますから一人づつの男が一人づつの女を妻としてそれで同じやうに子供が出来るのではないかといふ風にも考へられるのであります。大きな優れた人々の子孫を遺すといふ事の爲には其の人に多くの女を取らしめるがよいといふ事になるのであります。是は日本にも可成りありますが、支那にも印度にも行はれて居り西洋でもさういふ多妻的の傾向があつたのであります。支那では夫人即妻君が何人あるかといふ事を調べて其の多きを以て誇として居るといふ事を聞くのであります。支那では第一夫人を貫ふ時には同時に二人の妻を貫ふのです。それも大抵姉妹であるか、叔母、姪であるとかいふものであります。さういふ風な事が昔の周代の制度でありまして、天子の妻の数が百二十名もあつたと言ひます。詳にいふと三后九嬪、それから二十七世婦、それから八十一女御と斯ういふ風になつて居りましてそれで、總計百二十名です。是だけ奥さんがあつたら大變であらうと考へますが「宮女三千人」といひますから或はある時はもつと深山居つたのだらうとも思ひます。后妃が百二十人もあるとすると天子の夫人としては餘り不公平な取扱も出来ないからそれをどういふ風にしたら宜いか、なか／＼難かしい事でありましてそれで天子の御世話をする爲出て行く日を定めて置くのです。夫人の中でも三后といふの

が最高位であつて、其の中で一番位が上であるから満月の時に天子の御傍に差上げるのです。何故満月の日に差上げるかといふとこれは一番妊娠し易いので十五日と十六日とに皇后陛下が御上りになるのです。上代に於てはさういふ難かしい制度があつたのですが、それが唐の時代になつて減りまして二十人になつたのであります。

日本でも古代に於ては天皇陛下に奉仕する女子は澤山ありました。彼の平安朝時代には皇后中宮、女御、更衣、此の四つの位の皇妃を立てられたのであります。勿論皇后の位にあるのは一人であります。女御は三人以上、中宮は三人四人もあつて、日本にも多妻制が行はれたのであります。平安朝の時代に出来ました所の戸籍簿を見ると何某は妾を三人持つて居る妻何の子供は何々と書いたものもあるのです。それが明治五年頃迄は行はれた事らしいのです。明治五年に初めての國勢調査を行つたのであります。戸籍の上には妾といふ名前が公けの名前となつて行はれて居るのであります。其の當時に日本では法律上公けに多妻を認めて居つたのであります。今では名前にはなつて居ないが、日本人の多妻的の傾向を持つて居るのは可成り多いのであります。支那人は非常に其の傾向を持つて居るのであります。社會がさういふ多妻的の事を認めて居るといふのはそれ等の民族、それ

等の國民の人口を殖やすといふ事の一つの現れとして此の多妻制度といふものを是認するといふ事になつて居るのであります。

### ハ 婚 姻 促 進

其の次は婚姻促進であります。よくある話であります。是は日本當りでは内の娘も年頃になつたから早く何とかしなければならぬと申します。又近所隣りの人等もあの娘は随分歳もいつて居るのに何故結婚しないだらうといつて、人の頭痛を氣に病むといふものも居ります。向ふは好きで結婚しないのを心配する人も多くあります。私は別に主義とか方針とかはないが、私の都合で結婚をしないで居ると盛んに人が嫁を勧めるのです。そしてもう五月蠅くて／＼仕方がない。仕方がないからまあ女房でも貰つて置ふかといふ譯で其の正月蠅さ防ぎに仕方なしに貰つたのであります。結婚しないで居ると盛んに勧めに來るのです。それ程婚姻を氣に病むのが世間であり、是は婚姻をするといふ事は當り前といふ事はなつて居る日本人通常の觀念から出來る事であり、日本人は男で一生涯獨身で通す人は百人の中で四人か五人かありますが、女の方はもう一生涯獨身で通す人は無いといつて宜しいのです。同じ一生涯と云つても生れて直ぐ死んだと云ふやうな人は是は一

生涯獨身で通すのですが、これはさう云ふ意味ではありませぬ。先づ二十歳から五十歳迄又はそれ以上の年齢の人です。

一体婚姻と云ふ事は就職の場合に都合が良い、結婚して居るやうな人であれば皆な落付いて居て何をさせても安心だと云ふ事がある。そこで結婚した人に對しては人の信用が多いので皆な結婚を勧めるやうに人々が出來上つて居ります。斯う云ふ風に誰にも彼にも結婚を勧めれば人口は殖へるに決つて居ります。又其の結婚も三十を過ぎてのものではなくてもつと／＼早く勧めます配偶のある婦人が一番澤山子供を産む時は二十歳から二十五歳迄の間と云ふ事になつて居ります。日本全國の調査として内閣の統計局で調べたものは大正十四年に産れた子供に就いて調べたものであります。二十歳から二十五歳の間の人々は大体に於て二人に一人づつの割合で産みます。帝國大學で調べたものは、子供を産む率は三十五パーセント位になつて居るし、此の調査で見ると五十パーセントになるのであります。それから段々年齢が下れば下る程子供を産む率が少くなりますが、中には六十歳で初産と云ふやうな例外事もあります。(所がそんな馬鹿げた事はない事實上はそんな事ではない、それは壇那さんが他に若い婦人があつてそれが産んだ子供を其の人の子供にして初

産と云ふ事にして表面に表はれると云ふ事でありませぬ。事實上では女は四十五歳迄位は産む事が出来るのです。

こんな風で我が國では男は三十歳でも過ぎし、女は二十歳以上になると一日も早く婚姻させやうとする。昔は年齢がもつと早かつたのでありまして現に私の兄弟等の女房は十七歳で嫁に來たのもあります。しかし今日では初婚年齢が大体二十一歳と云ふ事になつて居ります。さう云ふ風に一番子供を産む時期に近い年齢かもしくはそれよりもつと前の時期に於て婚姻させやうとするのでありまして、夫婦になれば一番子供を産む年齢を通るやうにして居ります。で出来るだけ早く子供を産ませて段々其率を高めて行くと云ふことは非常に澤山子供を産む事を奨励するのであります。

それであるから結婚の奨励と云ふ事は同時に子供を澤山産む事を奨励すると云ふ事になるのであります。我國では吾々の思想上で婚姻と云ふ事を非常に好い事にして居りますから皆な婚姻を勧める事になつて居ります。歐羅巴に於ても結婚を奨励して居る國では配偶者には所得税を免除するとか、結婚しない者には獨身税と云ふものを賦課すると云ふ事をやつて居りまして、現に佛蘭西の如きは其の一つであります無論結婚した者には所得税を

少し減するのであります。所が日本では一般に結婚を好い事とし、之をお目出度い事として又結婚を奨励して居るので婦人が一生涯獨身で過して仕舞ふやうな者は殆んどないのであります。是が婚姻促進と云ふ事でありませぬ。

### 二 出 産 保 護

其の次が出産保護と云ふ事です。是はまだ我國では多くは行はれて居りませぬ。子供がある場合に於きまして其の所得税を子供一人に就き百圓づつ控除もして呉れると云ふ程度極く僅かな奨励でありまして、特に子供を餘計に産んだからと云つても褒美をやると云ふ事は全然無いのであります。所が盛んに出産を奨励して居る佛蘭西當りでは子供を三人以上産んだ場合には國家が褒美を呉れおまけに税金をうんと減して呉れる。又妊婦が職業婦人である場合に於きましては其の出産前後を通じて何週間も休暇を公許し、其の休暇の日數に對しては雇主は給料を支拂はなければならぬと云ふ事も行はれて居ります。詰り妊産婦保護と云ふ事を法制的に行つて居るのでありまして、是が即ち出産保護と云ふ事でありませぬ。是は歐羅巴各國共行はれて居る事でありまして、折角出來掛けた子供であらう、來るだけ安全に産せてやらうといふ事に基くのであります。矢張り！

する一つの方法に違ひありません。

此妊産婦保護の事は歐羅巴各國何處でもやつてゐるのでありますが、此の中には妊産婦の保護出生兒の保護と云ふ二部門に分れます。斯う云ふ制度に依つて各國は子供の數の多くなると云ふ事を助長發達してゐるのであります。

そこで是までは出生助長と云ふ事がどう云ふ方法に於て行はれておつたかと云ふと人工的には婚姻促進又は早期婚姻を奨励したのでありまして、是等が人間の數を殖やすと云ふ事に就ての最も有效な方法であります。

3 出生制限

1 殺兒

所が今度は其の反對で出生を制限すると云ふ事があります。詰り出来るだけ子供を産まないやうにして人間の數を少くすると云ふ事ではありますが、子供を成べく産ないやうにする方法として今迄人間のやつた事はどう云ふものであるかと云ふと、其の一番簡單なものでは殺兒と云ふ事即ち産れて來た子供を直ぐ殺すのであります。是は皆さん御承知の方もありませうが、我國では徳川時代には各藩とも非常に行はれて居つた事でありまして、歐

羅巴に於ても随分盛んであります。英吉利でも其の法律に「生れてからまだ何等の食物を與へない子供は殺しても宜い、しかし食物を與へたならば殺してはいけない、即ち乳も飲ませず、他の食物も與へない間ならば殺しても差支ない」と云ふ規定がありました。それで子供を殺すと云ふ事は別に大した悪事でない歐羅巴人も考へて居りました。支那朝鮮に於ては現在でも尙盛に行はれて居るのであります。

又前にも云つた通り徳川時代に於てはどの藩に於ても行はれた事でありまして。是れは何れの藩に於ても何れも皆獨立自營の經濟を立てなくてはならぬのでありますから、初から生産力の決つて居る所に向つて人間の數が殖へるといふ事は自然と吾々の生活程度の低減と云ふ事を持ち來すのです。吾々の生活に必要な物を作るのは自然に對して人力を加へる事に依つて造り出すことに依つて人間が、養はれて來るものであります。生活費が段々膨脹すれば段々人間の數を制限しなくてはならぬ、一方に又生活費を段々縮少すれば人間の數が少々多くなつても差支へないのであります。所が各藩に於ても或る定つた區域に於て各自の生活をやつて居つたので、人間が多くなれば其の生活の標準を下げなくてはならぬ事になる、それで或る一定の標準の下に生活して居る者としては、何うしても人間

の數を制限しなければならぬ詰り人間の數をあまり殖しもしなければ、あまり少くもしいと云ふ事を封建制度の下に於てはやらなくてはならぬ事になつて居りました。詰り自給自足の經濟に於ては生活費を膨脹させると云ふ事を止めなくちやならぬのであります。それには何うしても人間の數を殖やすと云ふ事を制限しなければならぬ事になるのであります。

人間の生活費は一度或る程度迄膨脹するとその程度よりうまく引下げると云ふ事は非常に難かし事だから、金持が貧乏になりかける時には急に貧乏になつて仕舞ひます。此の邊には斯う云ふ實例はないかも知れませぬが、私の産れた方面に於ては能くあるのであります。親の代にはさうもなかつたが、子供の代になると急に貧乏になつて仕舞ふと云ふ事は生活費が一度膨脹して仕舞ふと、之を甘く取り縮める譯にいかないからであります。是は丁度汽車が開通すると歩行くといふことが出来なくなると同じであります。人間は電車や汽車が通ると斯う云ふ物は當然吾々が乗るべきものだぞ考へます私は今巢鴨に住んで居るが大學へ通ふのには必ず電車に乗るのであります。私の學生の頃は矢張り現在の所に住んで居りましたが、其の頃は電車と云ふものはなかつたので何時でも雨が降つても、雪が降つ

ても、歩行いて通つて居つたのであります。所が電車が通るやうになると電車に乗ることが當り前のやうになると歩行かなくなりますし、又一面にはさうやる事が吾々の生活をより活潑にする事になるのであります。それで一度膨脹した生活は下げ様としても下げる事が出来ません。

人間の數が段々殖へて來るといふ事は、段々と其の生活程度を高める事になるから物資の生産高が殖へなければなりません。もし其の高が殖へなければ其の人間の數を減らすといふ事が必要でありまして、是が一番宜い事であります。己に働いて仕舞つて役に立たなくなつた人は殺すのが先づ宜いのであります。今迄は働けたが是から先は働く見込のない奴は活して置いても仕舞がないから殺して仕舞ふ方が宜いのであります。

併ながら如何なる民族でも自分等より前に生れておつた人が一生懸命に骨を折つて折角是だけの文明を築き上げたのに、彼等が今からはもう役に立たぬからといつて之を殺すといふ事は如何なる人間でも出来ない事である。そこで今度は現在に働いてゐる人間は殺しては仕舞がないから、其の次に産まれて來た奴では是から生きるか死ぬるか分らない計りでなく生かすのに非常に長く手數の掛かる者、それを殺すのがよろしいといふことになる。

此の兒殺しといふ事は東北地方に於て行はれたものであります。或る所では一年の中に五萬人の人間を殺したので、人間の數が激減したといふ記録さへ残つてゐる程であります。さういふ風に封建時代には生れて來る兒童は殺さざるを得ない、殺さなければ自分達が死ぬるが故に愈々といふ時にはドシ／＼殺したのです。

外の話になりますがある時英吉利で船が難破した事がありました。其のボートの中には七人の人間が残つてゐましたが、さうしてゐる内に食糧品が段々缺乏して仕舞つた是から何日斯うしておらなくてはならぬかも知らないのに七人の人間が食べられる丈け毎日食つておつても仕様がなない。愈々食物の無い最後を想へばそうならぬ先きに誰かを犠牲にしなくてはならぬといふことになりました。愈々といふ時には人間といふものは非常に慘酷な事を致すのであります。昔は能く子供を殺したと申しましたが子供を殺すのにも色々な事があります。子供は一番初めに産れた子、二番目に産れた子といふやうに分けて居りますが、二番目に産れた子は必ずしも偉くないといふ事も、一番初めのものが偉いと極つた證據といふものも無いけれども、其の順位に依つて子供を育てるといふ事にして色々な方法を考へております。又は何の日に産れた子供は殺すといふ事に極めて、忌日といふものを

拵へ出しました、そんな嘘か方便でも拵へなければ殺すのに都合が悪いからであります。さういふ具合でありまして未開人の間に於ては忌日といふものが一年の三分の一位あつたものです。

口 墮 胎

そんなことをして子供を殺してゐましたが段々やつてゐる中に是は餘り慘酷だといふことになり、其の次に案出された方法は假令妊娠しても子供を産まない事であります。子供をまだ産れない先に殺して仕舞ふといふ事は、日本でも徳川時代には盛んに行はれましたのでそれがため或る特種の技術が非常に發達したものであります。是は日本ばかりではなくどこでも行はれてゐる。現に勞農露西亞には此の墮胎が許されてゐまして、國家の公認した人が必要なりと認めて之に施術する場合には墮胎しても宜い、醫者以外の者はそれは懲罰するといふ事になつております。それで露西亞は人口が約一億三千万人ありまして一年に四百萬人以上の出産があるのですが、それに對して五六萬人といふものが墮胎で處置されるのです。歐羅巴でも墮胎は公認されておりました、尤或は子供が三人以上ある場合とか、五人以上ある場合に妊娠した時には墮胎を認めるといふやうになつております。是は



人口の増殖といふ事から来る色々な苦痛を免がれるが爲に、墮胎が認められたのです。

### ハ 避 妊

所が是も亦慘酷な事でありますから、今度はそれに次で行はれるのが避妊といふ方法であります。妊娠させないやうにする事であります。是は日本で今の所餘り發達をしておらないのであります。現在日本では墮胎とか殺兒とかいふ事は固より犯罪になるし、又避妊といふ事も餘り行はれておらないのであります。今の日本人と云ふものは一番除計に子供が産れるやうになつております。それはさういふ墮胎とか避妊といふ事は犯罪であると考えられてゐる、一方に子を産むといふ事が極めて道徳的な人間のやり方であるといふ思想が日本人を支配してゐるのであるから出産率の高い事は自然の現象であります。

所が此の避妊といふ事が現今非常に八釜ましく言はれておりまして、殊に歐羅巴では其の實行が盛んであります。歐羅巴では避妊しない婦人といふものはないのであります。獨逸の調べに依ると一番避妊することの少ないが、百姓の婦人でありませんが、それでも其の三分の一以上は致します。工場労働に従事する婦人は百人の中で七十人位、知識階級に至つては八割八分以上約九割近くは避妊するといふことになつてゐるのであります。勿論是

は全部の調査でないから能く解らないけれども、大体斯ういふ傾向があるのであります。現に大都市に於ては避妊が非常に行はれておりまして、亞米利加に私がおりました時に二人の大學教授の家庭に出入したのですが、子供を二人以上持つてゐるものはないのみならず一人も持たないといふものが澤山にゐるのであります。

所が日本に歸つて見ると同じ大學教授でも子供が多くて子供の爲に苦勞をすといふものが片端からでありまして、現に吾々の友達に子供を一人も持たぬといふ者はないのであります。昨日の講演をされました倉橋教授の如きも非常な子煩悩であります。教授は管に自分の子供が可愛いはかりでなく人の子供でも誰でも子供となる何とはなしに好きであります。それで子供は何をして構わぬといふ位であります。或る時倉橋教授の子供が死なれたことがありましたが、其の時の悲觀の仕方たら申し様もない程でした。其のやうに日本では一般に子世は何人あつても宜しいといふ考へ方が強くて子供の産れてくるのを止めやうといふやうなことは知識階級にも殆んどない。小學校の教員でも、僧侶でもサラリーメンの家庭にも多い、百姓は無論多い。比較的子供の少ないといふ所は先づ商賣人か金持の所であります。是は道徳的程度が低いといふことか、もしくは何か外の原因で以

て子供が出来なくなるといふ事であるらしいのです。

それで前に申します通り日本では避妊を實行するといふ事は先づないのでありますが、歐羅巴には非常に多く行はれて居りまして、殊に又避妊が行はれ易くなつて居るのであります。日本の如きは家の構造からいつても避妊が出来悪いのです。室といふものが解放状態であつて唐紙一つで何處にでも行けると云ふやうに出来て居りまして、其處に親父さんも、子供も、若い者も、老人も同じやうに寝て居るからさう云ふ所ではなか／＼避妊と云ふ事は行はれ悪いのです。所が歐羅巴の如き所では一つ／＼の部屋に戸があつて、一々鍵があるからそれを中からかけさへすればどうしても出入が出来ない。そしてそこに何かの設備が整へられて居るから非常に避妊が出来易いといふやうな構造に住宅がなつて居ります。現に佛蘭西では人口が非常に減少しつゝあるのです。彼のアルサス・ローレンー御存知の通り大戦の結果此の間佛蘭西の手に戻つた所でありませんが、茲は人口が段々殖へて居ります。又佛蘭西の北から西に向つて出て居る半島で、ビスケー灣に向つて居る所にブレトンと云ふ所があります。此處は商工業が余り盛んでない所でありませんが、此處は人口が殖へて居ります。そこで種々調べて見ますと、茲には面白い事があります。それは家の構造が子供

が出来るといふ事、即ち避妊が出来ないやうになつて居るのであります。一家の中に老人夫婦も、若い夫婦も一緒に住んで居りまして、若い夫婦の寝台は高い方にあり、老人夫婦は其の下の方に寝て居る様な譯でそれでも避妊が出来悪いとさう云ふ状況にあるのであります。所が近時段々と其の家の構造を變化する者が出来て参りますので、ブレトンに於ては昔風の住宅に居る者に對しては税金を免除し、新しい家屋を建設した者には多額の家屋税を課すると云ふ風になつて居ります。所が歐羅巴の他の地方や亞米利加では非常に避妊が出来易くなつて居る爲に社會の各階級に通じて段々避妊を行ふやうになつて来て居りまして、其の結果として佛蘭西の如きは前に申しました通りブレトンとかアルサス・ローレンの如き地方を除いては其他は殆ど人口の殖ゆる處はないのであります。

それで歐羅巴では避妊の相談をすると云ふやうな所には政府が壓迫干渉を加へると云ふ事を致しますが、人工的の技術を施して避妊すると云ふ事が段々と甚しくなつて来て居ります。是は常に人口過剰な所ばかりでなく、稀薄な所に於ても同様に行はれて居るのであります。例令は夫の濠洲の如き非常に人口が稀薄であるのみならず、それに土地は廣漠で農産物は非常に豊富に出来る、殆ど生活に困ると云ふ事はないのであります。それでも矢

張り人間の数は殖はしません。濠洲で下水道を掃除した所が、下水道に塵芥となつて一番多く溜つて居るのは避妊に使用した道具であると云ふ事があります。之を以てしても避妊が歐羅巴人の住む所には非常に盛んに行はれて居ることが分るのであります。是が人口を制限する事の爲に最近に於て行はれて居る一番大きな方法であります。

## 二 婚 姻 制 限

其の次には避妊よりもつと道徳的な人口制限の方法として婚姻制限と云ふ事があります。人口問題としては御承知の通りに英吉利にマルサスと云ふ學者がありますが、此人の著はしました人口論といふ書物の中で『人口は幾何級数的に増加する、所が人類を養ふ所の食糧品は算術級数的に増加する、徒つて算術級数的と幾何級数的の此の差に基ひて、將來に於ては人口増加に依る食物の欠亡の爲に人間が絶對的の困難に陥るのは明白の事であつて、之を救ふ途は何かといふと道徳的の人口制限より外に途はない、其の道徳的人口制限とは何かといふと、人間の結婚を延期するといふ事である。

と斯ういふ事を言つて居るのであります。そして戦争とか饑饉とかいふ様な事の爲に人口が減少するといふことはあつても、そんな事に人間は頼依つては居られないと云ふ事を

主唱したのです。マルサスに依ると詰り食糧品の方は一、二、三、四、と云ふ具合に殖へるのですが、人間は一、二、四、八、十六、と云ふ具合に殖へて行くので、之を防ぐのは人間の數の殖へ方を算術級数的に殖へるやうに殖へる數を減少しなくてはならぬ。それにはどうしても道徳的の制限をして結婚を延ばすより外に方法はないと云ふ事の決論をしたのです。

詰り婚姻制をして其の方法としては結婚年齢を高める事を主唱し、若くして結婚するのを止めて歳を取つてから婚姻をする、平均婚姻年齢が二十二であつたものを二十五にするとか、二十五であつたものを二十七にするとかして先に延ばして行く、斯の如くにして食糧品の増加と人口の増加と相伴つて行くやうにする、さうすれば人間は生活には困らないが、さうしなければ生活に困つて来るやうになる、さうなると自然と色々な罪惡が起つて來て、之を防ぐ事は出來ないのであるといふことを申しました。これが人口問題に關する考の中で最も有名なるものであります。

マルサスの申します通り婚姻を早くすると延ばすのどに依つて子供を産む數が非常に違ふのは明白の事であります。日本婦人の初婚年齢は現在二十一歳といふ事になつて居ま

すが歐羅巴に於きましては二十六歳、スエーデン、ノールウェーは一番結婚の遅い所で二十九歳といふ事になつて居ります。所が此の方法に對しては最近反對説があるのであります。此の結婚を先に延ばすと云ふ事も、産兒を制限するに有力の効果はあるがそれは只だ結婚をしないといふだけで、人間の性慾と云ふものを制限すると云ふ事は出来ない。それで性慾は制限されないから結婚は制限する事が出来るが、これは結局性的に罪を犯す様になる。それでは何にもならぬから寧ろ婚期を早くしてさうして子供を一人なり二人なり生んだ上は後の子供が出来ないやうにするがよろしい。さうすれば人間が一番生活に困らないやうにする事が出来るかと主張するのであります。是は兎に角と致しまして、婚期を延ばし段々婚姻の制限をすると云ふことはこれは道徳的の制限方法として最も重要な方法としてマルサス以來頻に唱導されて居るのであります。

それで制限の中の第一は年齢上の制限であります。詰り歳を取つてから婚姻をすること即ち婚姻年齢を高めて行く事であります。所が我國に於きまして徳川時代の大名などの婚姻を見、すと非常な早婚であります。即ち徳川家の例を見ますと三代將軍の家光を除いては何れも二十歳か二十一歳で婚姻してゐると思ひます。又大名では十一歳十二歳で祝言與

入をやるのが普通で、此の與入を七歳の時にやり祝言が十一歳、披露が十五歳であるといふ風にしておる者もあるのです。しかし斯う云ふものは特別としても一段の婚姻といふものが我國では非常に若い時に行はれておりまして、小學校を卒業した許りで漸く人間の數に入るか入らぬか位の年齢、或は娘の數の中に入れられない位の若い者でも昔は一人前の人間に入つてゐるのです。

しかし現今の文化の程度を味ふのには斯んな若い小さなものでは逆も出来ない、此の文化を味ひ得ない人間が家庭の婦人となつて家政處理する時には非常に不經濟なことをするのであります。全体文明を能く味ひ得る婦人が家庭の人となつてこそ初めて家庭の整理といふものが出来るのであります。それをやらないで捨てて置くとは日本全体の經濟に於て一年の間に何十億圓といふ差が出て來ると思ひます。それで文化が高まれば高まる程社會の各方面に理解のある人間を要するのは當り前であります。昔は兎も角も只今では十七八の若い女では逆も世の中に立つて家政万般を取りまかなへて行くことが出来ない様になり、それで婚姻年齢が次第に高まつて行くのであります。それで我國でも一般の傾向は先に延びるやうになつて居りますが、まだ一、日本は世界の文明國の中では一番婚姻年齢の

低いものであります。そして婚姻年齢の制限を法律を以て行ふといふことでなしに、民族の思想の上より行はせるといふことを考へるやうな機運が段々と今日は醸成されてゐるのであります。

次が通婚範圍の制限であります。これは昔から行はれて來てゐるのであります。どういふ人と婚姻してはいけないとか、いつて所謂身分格式の上よりなかく、容易に婚姻が出来ないやうにするのがそれでありませう。是は昔から行はれた方法でありまして、自分の配偶者を求める範圍を嚴重に制限し、さうして配偶者が巧く見付からない時には段々と婚姻が遅くなるといふ事になつて参ります。それに就いて未開人が色々な方法をやつておりますが、其の中で一番著しいものは身分に依つて其の範圍を決めることでありませう。貴族は貴族、士族は士族、同じやうな身分同志の間に婚姻をする。又同じ貴族の中でも大名は大名、公卿は公卿といふ工合で婚姻が非常に難かしくなつて、その爲に婚姻が延び従つて子供が出来悪くなる。これは我國計りではない、未開人でも随分やつておるのであります。ポリネシア群島中の民族には身分格式を嚴格にいつて婚姻を其の間に制限すると云ふ傾向を持つておるのが澤山におります。これが通婚範圍の制限です。

それからもう一つは數の制限であります。これは一夫一婦の制限、詰り男子は妻を多く持つてはいけない、一人の妻でなくてはならぬといふことになつてゐて、之を法律で制限するのですが、此の制限が最も強く行はれてゐる所は歐羅巴と亞米利加であります。日本でも最近に於きましては婦人の地位が高まるに従つて一夫一婦の傾向といふものが發達してきたのであります。婦人の他位が高くなかつた時代には、女は多くの男を持つてはいけないが、男は女を澤山に持つても差支へないといふことになつておつたのであります。さうしてもさういふことは出来ない又宜しくないといふことに段々變化して参りました。これが所謂數の制限であります。

### ホ 婚 姻 禁 止

其の次は婚姻の禁止といふ事であります。これは誰でも禁止するのでない、婚姻の結果惡質の子孫を遺すのであらうと考へられるやうな者にのみ婚姻を禁止するのであります。現に所謂婦人覺醒運動とでも申しますか、さういふ運動に従事して居る婦人の方々が「結婚をする場合には結婚證明書を持つて居る人たることを要する。其の證明書は本人は何等惡質の病氣を持つて居らないといふ證明が載せてあつて、それが即ち婚姻をして有効なら

しむる事になる。婚姻には是非さういふ事をしなくてはならぬ』といふ事が婦人の請願運動として議會に提出されて居るのであります。只今では單なる運動であります。已にさういふ運動といふものがあるといふ事は將來さうなるだらうと思はれる證據の一つであるのであります。

亞米利加又は瑞西に於きましては斯ういふことを主張して居ります。即ち或は精神病患者とか、肺結核の非常に進んだ人とか、アルコール中毒の患者だとかいふ者とは婚姻してはいけない、さういふ婚姻は之を無効とするといふのであります。これは悪い方面の人口の殖へるを制限する趣旨でやつて居ることです。以上は出生制限に關係して人為的に行はれて居る各種の方法であります。

#### 4 死亡防止

##### イ 原始的方 法

次が死亡の防止であります。是には色々な方法がありますが、極く原始的な方法としては魔術をしたり、祈禱をしたりして病氣を癒やすのであります。醫者が病氣を治すといふ場合にも半分は精神的方面の作用で治癒するのでありますから、祈禱といふものは全然意

味のないと思ふ事ではないのであります。それで或は御祈禱の水を飲ませるとか、活を入れるといふ事や其他にも色々な魔術をやつて、其の魔術に依つて病氣を治し、又人間の壽命を延ばすのであります。

##### ロ 醫 術 の 進 歩

所が近代に於きまして醫學の進歩が非常に著しくなつたのであります。併し醫術の進歩といふ事になると、苟も病人になれば、誰も彼も醫者に掛かれるのでないと醫學醫術が進歩したといふ事は言へないので、何うも此の頃の醫者は金を儲ける事は非常に能くやりますけれども、本當に病人を治すといふ事は實際にはそれ程やらないやうに吾々から見ると見わたるのです。貧乏人なら餘り親切にしない、が併し澤山金でも持つて居る者ならば親切にする、何故かといふと『是は矢張り營業なり如何ともすべからず』とかいひますがそれは兎に角確かに醫術は進歩して居ります。その醫術に依つて小供の死にかけたものでも死なないといふ事になつて來まして、さうして矢張り人間の數を殖すといふ事になつて來たのであります。

#### 八 保 護 政 策

是以外には人間に對する所の保護政策がありますが、殊に重要なもの食料政策、住宅政策といふものがあります。此兩政策は先づ近代の保護政策としては最も大きな政策であります。是は何人も食物と住宅に有付くやうにするといふ政策で、人口保護の意味から生じたものであります。殊に歐羅巴大戦争の時に食物が足らなかつたのは甚いことであります。是は百姓が横着をした爲でもなければ、労働者が働かなかつた爲でもない。誰の責任でもないので、英吉利も、佛蘭西も、獨逸も、國を擧げて戦争に従事して居つた爲に食糧品の供給といふ方面の手が抜けたのであります。戦争は必要な國策として國民を擧つて一生懸命になつて従事して居る爲に必要な食糧品に不足を來したといふのであるから食糧品不足の責任は國民全体が負はなくてはならぬ、金を持つてゐるとか、居らないとかいふ事の問題ではない。金持でも貧乏人でも食糧品の不足といふものに對する責任は負はなくてはならぬ。それであるから食糧が不足する場合には誰しも其の欠亡を均霑するやうにしなくてはならぬのであります。故に白麵麩が無いといふ事になれば黒麵麩を以て之に代へなければならぬ。黒麵麩は貧乏人だけにやり金持は白麵麩を貰ふといふやうな事ではいけない。國民全部が黒麵麩で満足しなければならぬ。それで誰にも麵麩の切符を賣つ

て、それで食糧を買ふ様にした。又砂糖が不足で困るといふ事であればこれは貧乏人も金持も同一に其の責任を負ふて同じやうに不足したものを分けて喰べるといふ事を致したのであります。斯ういふ事が歐羅巴大戦争中の食糧政策中の最も大きな仕事でありました。

其の精神から致しまして例へば日本でも米が天候の不順の爲に穫れなくて食糧不足になつたといふやうな場合があれば、それは國民の非常な不仕合であつてこの不仕合は誰が招いたからでもない、全く偶然の出來事であり且は國民全体の上に掛つた不仕合であるから國民全体が背負ふべき責任として貧乏人も金持も同一に分擔しなければならぬ、といふ精神を強調しまして具体的色々な方法を施されて來たのです。かゝる天災時に際して色々な食糧の不足の爲に國民の壽命が縮まるべき筈のものを適當な食糧政策に依つて之を助長保全することが出来るやうになれば、大きな國民保健上の一政策となるのであります。

も一つは住宅政策です。これも同じ事で極めて非衛生な非常に不健康な住宅にゐるといふ事は自分から好きこのんで其の中にあるのではないのであります。斯の如きことは其の國民が只だ偶然に色々な四圍の條件からさうならざるを得ないやうになつたのであるからそれ等の人々がさういふ條件にあるといふことは、是は國民的の災害の一つと考へて、

國民全般が之の負擔に任じ、これを除去する方途を考へなければならぬといふことになるのであります。

以上の理由で社會に不良住宅といふものを置かないやうにするといふことが英吉利で行はれた、最初は英吉利で行つた時には其の不良住宅といふものを破壊して仕舞つて健康に適した住宅を造つて其處に住まはせるといふことを致したのであります。日本でも内務省で住宅改良の法案を立てまして、さういふ不健康な不良住宅を建て直すといふことが、最近二三年の間に多少行はれて來てゐるのであります。さういふことになれば其の爲に失はれて居る所の人命を保護して段々生命を延ばして行くといふ保健政策が各國共に行はれてゐるのであります。

### 三 人口政策

#### 1 人口構成

次は愈々人口政策といふことになります。斯くの如くにして世界の各地方に行はれております出生の助長と死亡の防止といふことが、人口の増加といふことに一番役立つものであり出生の制限といふことは人間の數を減少するといふことに最も効果を擧げてゐるので

あります。かういふ兩方面の人爲的技術は過去數十年を通してあらゆる民族の間にも、總ゆる程度の文明に於ける國々に於て、種々雑多の形に於て現はれておりますから、國民が其の國民の間に持つてゐる所の人間の數を加減するといふ事に何分かの技術を凝らすといふことは些し不思議なことではないのであります。何れの民族もさういふことをやつております。場合によつて殖すといふことに對して非常に努力することもあるし、之を減らすといふことに骨を折ることもある、斯の如くにして人間の數といふものは絶えず、殖したり減らしたりするといふことを堪えず考へてゐるのであります。

人口問題を我々が解決せんとする場合に於て、或は人間の數の上に於て或は人間の質の上に於て、人爲的の技術を施すが良いか悪いかといふことは已に問題になりません。さうしてそんなことを過去幾千年の間人類が總てやつておつたといふことは事實に相違ありません。又、妄に其の方法に善惡の批評も加へられませんが、もし人間の數を制限するのが悪いならば又之を助長することも悪いことで、此の制限とか助長といふことは詰り消極、積極との相違でありますから、人口の上に人爲の技術を加へるといふことから言へば同一事であり、何れの方法を加へることが良いか悪いかといふことは片一方の方法を加へる



ことが悪い、他の方法を加へるのは良いといふことは末節は差し置き其の技術を加へるこ  
いふことそれ自身の上にいふべきことであつて、この事に於ては批難の起る譯はない。そ  
こで人口政策問題と致しまして人口全体の上に於て技術を加へるといふことはどうしても  
必要になつて來るのであります。

それならば人工的の技術をどういふ風に加へるかといふことが研究上最も望ましいこと  
である。併し只だ無暗に之を殖やすといふことばかりでなしに、どういふ風に加減するか  
之が爲に何ういふ工合に一定の方針を設けるかといふ事はこれは國民全体として十分に考  
へなくてはならないのであります。

其の基本的の方法としては先づ第一に量に關することでありませう。それには斯ういふこ  
とが言はれます。人間は生れてから一度は必ず死ぬるのですが、中には生れて直ぐ死ぬるも  
のがある。是は生れるといふことに多くの人手間を掛けて置き乍ら、其の人々に對して何  
等の報恩をもしないで死ぬるの下すから、この種の死に方をするのは最も不道德な人間  
であります。然らば最も道德的な人間はどうかといふことは生れてからすつと働き通して  
其の働が止んだら直ぐ死ぬ者、これが人類に對しては最も望ましい人間であります。人が

死んで彼の人は惜しい事をしたと言はれる人はまだ働く力が残つてゐるからであります。

其次にあの人は死んで宜かつたといふのは十分働をした本當に道德的な人であらうと思は  
れます。尤も死んで宜かつたといふ言葉の中には他の方面に於ては悪い事も含んでゐる  
やうに思はれますが、彼の人は今死んだかまゝ恰度宜い年だといふやうに言はれる人が先  
づ結局最も道德的な人でもあると思はれます。だから生れた人間をば出来るだけ死なさせな  
いといふこと、是が非常に大事なことであります。

所が先刻申したやうに人は生れてから段々と死んで行くのですが、我國の統計では生後  
一ヶ月以内に死ぬものが非常に多くあつて、生れてから一年以内に死亡する者が百人中に  
約二十人もあるといふことになっております。詰り乳兒即一歳未満の兒童の死亡は日本で  
は十六人乃至十七人ありまして、其中一ヶ月以内に死ぬものが八人餘、一ヶ月以上十一ヶ  
月迄の間に八人餘死にます。それで此の十六人餘が人間として最大なる不道德な者であり  
ます。それに親は一生懸命になつて生かし度いゝと心配するにも拘はらず死ぬのですか  
ら人生に是程不仕合なものも又とない譯であります。外國では一歳未満の兒童の死亡率が  
日本より遙に低いのであります。英吉利が只今の處八人、佛蘭西が十二人、獨逸が十三

人となつております。

一歳以上になりますと死ぬものが段々減つて来て一歳から二十歳迄の者は百人中五十人ばかり死ぬことになつております。是は實に大きな減り方であります。是は詳しく大きな圖に書いたものが澤山にあります。其の圖を持つて来る譯にも行かないので此には細かい物に書いてそれに色が着けてあるのを御目に懸けます。(圖を示めす)一番下のものは歳の一番低いものであります。是が一番多くてそれから段々上になるに従つて段々少くなつて行く、大体四十五度の角度を持つて行つてゐるのであります。是は多少は變化もありませんが先づさういふ角度を示しております。兎に角二十歳迄に半分減つて仕舞ひます。是は社會に取つて随分大きな犠牲であります。此の二十歳以下の死亡者は人手間を食つて漸く一人前になるといふ時に死ぬのでありますから、人のものをロハで取つて仕舞ふ丈けで返禮はしないのであるから全國から見ると、實に何億萬圓の損害を掛けてゐる譯であります。それで日本の人口の減り具合は四十五度の角度をなしてありまして、斯ういふ具合に



の形になつて行くので  
す。だからもしそれが



斯ういふ人口になつて上も下も不揃でなく  
なれば、理想的の人口であります。それで

人口政策上一番理想的なことを言へば、乳兒から段々成長して十分に働きの出来るやうになつたらば、一生懸命に働き其の働きが無くなれば運を天に任して直ぐ死んで仕舞ふといふことならば此の者は國民に最少なる負擔を掛けて國民に最大なる幸福を興へるといふことになるのであります。是ならば國家は非常に發展を致します。詰り生れた人間は盡く七十歳迄生かして死なすといふ行き方をするのが人類に就ての理想でありますから、それで此の理想に近い状態を作ること努力しなくてはなりません。それには先出来るだけ二十歳迄に死ぬことを防止し、生産活動を長く伸ばすといふことであります。もし何うしても斯ういふ具合に理想的のものが出来なければ比較的是に近いものを拵へるやうにすること、是が量の問題であります。

其の次に質の問題であります。これは吾々の中には弱質者や悪質を遺傳する様なものを除去するといふことであります。これは現に生きてゐる者は仕方が無いが其の子孫を成るべく遺さないやうにしよう、又優れた性質を持つてゐるものは之を出来るだけ或る特權を興へて全國に優れた性質を有する人間を多くしようとする努力、これが質の向上に向つてすることであります。斯ういふ具合に量の方に向つては、若くして死ぬことを防ぎ、質

に向つては優れた性質を持つ者を多くしようといふことに今日は非常な努力を拂はなければならぬのでありまして、これが所謂人口政策の根本的の問題であります。

次に人口の構成といふ事であります。國民全体の中には根本的に働く人間と、働かない人間といふものがあります。働かない人間といふと直ぐ病人の事を考へますが、元來病人といふものは百人に一人位のものであります。そして人間一年に三日位病氣で休むと平均して見ると平素活潑に働くならば大量から観察すると病氣は大した問題ではない。であるから是はもう仕方がないとしてよろしい。併し一人々々の人間に就ては消極的には悪い遺傳質を除き、積極的には良い遺傳質を持つてゐるものを保護助長するといふことであります。是が人口構成を考へるについて根本的の問題であります。さういふ意味に於て考ふべき人口構成の問題は、一人一人の立派な人々を十分に働き得る所の人間に育て、さうして後に死なすといふ風に量の方に向つて積極政策、又質の方に向つて消極政策といふものを取ることを意味します。

## 2 積極政策

### 1 資源増加

斯の如き人口を養ふ所の物資を増加するに就いては資源の涵養といふこともあります。

これは従來から非常に多く行はれております。植民地の開拓の如きであります。これも現在では新たなる植民地を求めるといふことは殆んど出来なくなつたので、今後は小さい資源でも宜いから之を漁るといふことであります。

### 2 發明の助長

そこで發明の助長といふことも施設の一事として考へられることになりました。これは總ゆる意味に於て人間の創造力を非常に強く働かして行き、何んでも宜しいから新規な事々といふやうに發明力を非常に強めて行き、新しい生産方法などが工夫されます。そして其の方法に依つて人間に必要な物資を造り出す生産技術が発達を致します。とそれに依つて品物が能く出来る、能く出来ることに依つて物資が多くなり、又多くなることに依つて生活が容易になるのであります。

## ハ 企業 の 合理化

其の次が企業の合理化といふことです。是は色々問題になることではありますが、之に付きましましては資本主義的精神を徹底させさへすれば企業的の合理化といふことに自然にな

つて行きます。これについて極く根本的のお話を一つ致しますと人間と人間との關係は決して理論的の意味ばかりでない事を申し上げたい。例へば八百屋で大根一本買ひたいと言へば八百屋の親父は五錢白銅を一つ呉れといふ事になり、五錢白銅一箇と大根一本との取引が出来、それで賣買が出来ます。所があつた八百屋の親父は氣に食はん自分とはどうも仲が悪いといふことになる、これはもう取引を離れそこに人間的なことが入つてきます。吾々人間といふものはお互に仲良くすることを希望し、即ち人間に對して必ず或る情味を持つておるものであります。企業の合理化とか何とか申しまして賣買關係に於ても此の情味を離れて八釜しくいふと、そんなに八釜しく言つた所で貴方と私とはさういふ仲ぢやないわといふことになつて仕舞ふ。さういふ場合に人間は情實を多分に持つてゐるのであります。其の情實に依つて色々失敗をします。今我々がある人に對し金を貸すとす。そうするとそれを嚴重に催促も出来なかつたり、取立てるといふことも出来なかつたり、或は掛金も色々な情實で掛けすたりになるといふ譯で、そこに人間的の意味が情實といふものが入つて來るのであります。

是が企業の合理化といふことは純粹な經濟人になつて、經濟的の取引高や利潤を殖やす

ことを目的にしてやることでござらば一番多く生産を殖やし、利潤を増すことが出来るかといふことを目的にして情實なんといふ事は考へて行かない。詰り全然企業といふことになりきつてゐるものである。それで此の企業を純粹に合理的に一定の主義方針に基いてやるといふこと、これが企業の合理化の根本的の觀念であります。

それで成るべく僅の費用を以て出来るだけ多くの利益を收める、生産を高めるといふことは資本主義の根本的の主義精神である、此の主義精神から申しますと生産活動を促進する新規の技術、或は監督の方法又は工場管理の技術といふ様な事が今日澤山行はれてゐるのであります。此方面のことは最近亞米利加に於て大層行はれてゐることです。従つて吾國に於ても企業の合理化といふことは盛んに行れてゐることです。都會のみならず、農村に於きましても販賣組合、購買組合、又は信用組合といふやうなものを設けて農産物を出来るだけ有利な方法で販賣するとか、或は農業に要する各種の機具機械若くは肥料等を出来るだけ安く買入れるとかいふことに就ては色々な組合が出来、さういふ組合に依つて人間の利益が各人の全部に均霑して行くやうに、又其の利潤を成るべく多く得るやうに努める。さうしてそれには情實關係を全然入れないで、本當に分量を殖やすといふ

事にだけに中心を置いて農業をやつて行くといふ事になれば、是が即ち農業の合理化といふ事が出来るのであります。

所が農業といふものは澤山の人間が結び付かなくてはならぬものでありまして、そこにはどうしても情實が入り込みます爲に、それで何うも農業の合理化は企業の合理化の如く容易に行はれないものであります。しかし出来るだけ情實を排して業務の經營を合理化し借りたものは返し不正な事はやらず、萬事算盤だけを持つてやつて行くといふ方法を強調するのが今日の販賣、講買信用組合或は農業倉庫等の經營が始まる根本の原因で、將來の農業は是非共さういふ風に發達さして行くべきであります。

又都會の工場に於きましても工場の冗費や無駄を節約廢止して出来るだけ利益を多くし賃銀は賃銀、情實は情實と別にして仕舞つて段々と其の經營を大規模にし、小さいのは大きなのと合併し、出来るだけ無駄の手間や仕事を省きましてトラスト化するといふ様に今日は段々となつて來ました。先づ其の現象の大きなものは去年の金融の恐慌がありまして、以來日本銀行を初めとして三井、三菱、安田とかいふ大きな銀行だけが残りまして近邊の小さい銀行はもう有つても無いと同様な形になつて仕舞つたのです。それが金融界に於け

る企業の合理化といふものが行はれた例證になるのであります。又紡績業に於ても小さいものは段々倒れたり合同したりして今日の状態になつて參りましたし、又電燈事業、炭鑛事業の如きものも同じ進路を採つて來ております。そのみではなく、其他色々な工業も段々と大會社に獨占合併されて來るのであります。

斯ういふ具合に生産の功程が大規模になれば多量の生産物が市場に出る事になり、其の物價も低落して、極めて安價に吾々が買ひ得ることになるのであつて、そこに又多くの人々を養ひ得る途もあると思ひます。所が其の一面は非常に宜しいが、經營法が大きくなり工場會社が大規模になつて、又機械工業が愈々進んで行くに人間を使ふ餘地が少くなり、自然と人間を外に向けるといふことにしなくてはなりません。それで企業の合理化が行はれれば行はれる程失業者が多くなることも考へなければならぬのです。あの物資の多い亞米利加に於きましても二百萬人三百萬人の失業群があります。それ等の點から考へまして徹底的に行はれるものではありませぬが、兎に角物資を安價にならしむるといふ點から考へまして、企業の合理化が望ましいのでありませう。

3 消 極 政 策

イ 人 口 調 節

しかし差當り日本に於ける人口問題は生産能力の發達といふ事を目標とする、或る程度は人口の増加を要するかとも思ひます。併しながら一年に八十萬の人間が殖へて來るのであるから、何處かにこれを消化しなくてはならぬのでありまして、斯ういふ具合に人口が増加するに連れて失業問題といふものは日本では今日非常なる問題であります。又生産がそれだけ増加しないのに無暗に人間を殖やすといふ事は考へ物だらうと思ひます。そして不景氣の時程人間が殖へるといふことを我々は考へて置かなければなりません。彼の大正七、八年の景氣の好い時には人口は殖へて居ませんでした。それが一轉して大正十一、十二、十三、十四年になり、不景氣が甚だしくなると共に人口が殖へて參りました。併しそれは自然に委して置くからさうなるのであつて矢張り其處には人間的の意識を以て生産力と平行ならしむるやうにして行かなくてはならぬと思ひます。それである程度に人口調節をやる必要が起りませう。それに對しては醫者が人間を殺すといふ譯には行きませぬから、是は前に申しました道德的の制限を行ふか、或は家族が増加しては困るやうな家庭に於ては妄に人口の増加する事を防ぐとかいふ方法を講じなくてはならぬのです。それで一方

には直ぐ人口調節といふことが結び付いて參ります。次の時代により多くの罪惡を残すであらうといふやうな虞のある人々が殖へないやうにするといふ事が必要であります。

ロ 人種改良及消費の合理化

それでそれ等の人の子孫が出來ないやうにする爲には、或る特殊の技術を施して産子を絶つて仕舞ふといふやうな事も最も望ましい事であると思ふのであります。

又それに伴ふて一面には生活費の合理化といふ事も必要になつて來ます。物を使ふのも人を雇ふのも無駄をしない様にするのがそれでありませう。其の原因をよく調べて見ると第一無駄のあるといふ事は『自分の物である』といふ考へ方に基くのであります。例へば此の時計をば子供にやらうと捨てやらうと俺の勝手ぢやないかといふ風の考へ方が、日本人全体を通じた所の精神であります。是ではどうしても物が無駄になります。俺の錢を俺が使ふのが何だ、之をば藏の中に收めて置ふが、人に呉れてやらうが勝手な事である。斯ういふ考へ方では何うしても物に無駄があります。又品物を使ふのにも此の品物の本來の目的を考へて其の目的に適つた使ひ方をしなくてはならぬ。さうすれば其の物の壽命といふのが可笑しければ永續性)を全うせしめる事が出来る。然しさういふ間違つた事が世の

329

94

中には澤山行はれて居るのであります。こんな事は非常に小さい事ですが、大きな所では交通機關に於きましても、或は人間相互の間に於きましても、或は住宅の事に於きましても、何に於きましても、彼に於きましても非常に大きな無駄が行はれて居ります。併しながら是等の物が造られる時の人手間や時間の事を考へるとただの紙一枚でも何の用にも供せないで無駄にするといふ様な意味で捨てるといふ事は絶対に許されない事でありませう。所が世の中では物を非常に粗末にする事が多い(又物に依つては非常に節約も致しますが)斯う云ふ事が目下の日本の現状であります。繰返して申します。此の企業の合理化と云ふ事は非常に好い事であるが、人口の過剰の所に於て之を行ふ時には之に依つて失業問題が出て来る、それで品物は余計出来ましても失業問題といふものが生れて来る、斯ういふ點からいつて將來に非常に大きな問題を遺す事になる消費節約といふ事をば徹底的にやらなくてはならぬ、又此の品物が澤山にあつても又其の品物を使用するに就ても其の永續性を全うするやうに使用する様に心懸けるさうなつて来れば小にしては世の中の無駄を削ぐ事も出来るし、大にしては人種改良といふ事にも、人口調節といふ事にもなるのであります。極めて大体でありましたがこれで以て社會問題として重要な人口問題の要點だけは申し上げたいと思ひますからこれで失禮して置きます。

昭和五年三月十一日印刷  
昭和五年三月十五日發行

山口縣

山口縣山口市下立小路一〇七

印刷人 齋藤定熊

全上

印刷所 共映社印刷所

中には澤山行はれて居るのであります。こんな事は非常に小さい事ですが、大きな所では交通機關に於きましても、或は人間相互の間に於きましても、或は住宅の事に於きましても、何に於きましても、彼に於きましても非常に大きな無駄が行はれて居ります。併しながら是等の物が造られる時の人手間や時間の事を考へるとただの紙一枚でも何の用にも供せないで無駄にするといふ様な意味で捨てるといふ事は絶対に許されない事でありませぬ。所が世の中では物を非常に粗末にする事が多い(又物に依つては非常に節約も致しますが)斯う云ふ事が目下の日本の現状であります。繰返して申します。此の企業の合理化と云ふ事は非常に好い事であるが、人口の過剰の所に於て之を行ふ時には之に依つて失業問題が出て来る、それで品物は余計出来ましても失業問題といふものが生れて来る、斯ういふ點からいつて將來に非常に大きな問題を遺す事になる消費節約といふ事をば徹底的にやらなくてはならぬ、又此の品物が澤山にあつても又其の品物を使用するに就ても其の永續性を全うさするやうに使用する様に心懸けるさうなつて来れば小にしては世の中の無駄を削ぐ事も出来るし、大にしては人種改良といふ事にも、人口調節といふ事にもなるのであります。極めて大体でありましたがこれで以て社會問題として重要な人口問題の要點だけは申し上げたいと思ひますからこれで失禮して置きます。

329

94

昭和五年三月十一日印刷  
昭和五年三月十五日發行

山口縣

山口縣山口市下立小路二〇七

印刷人 齋藤定熊

全上

印刷所 共映社印刷所



終

